

*be Ambitious Again!*

今 新たな人生の扉を再び！



51<sup>th</sup> 甲府中学・甲府一高 創立130周年  
東京同窓会記念誌

日新鐘



さあ、ウインナーを語りましょう。

あなたにとって、ウインナーの美味しさとは、何ですか。

私にとってそれは、お肉そのものの旨味。

噛むほどにあふれだす、ジューシーな肉汁。

あなたもぜひ、このジュワツッ！を体験してみてください。

きっと、あなたのウインナー観が変わるハズですから。

ジュワツッ！と  
旨さに技がある。



**アルトバイエルン**

伊藤ハム株式会社 取締役相談役 河西 力(昭和35年卒業)

〒153-8587 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル



**伊藤ハム**

ホームページアドレス <http://www.itoham.co.jp>



# 山梨縣立甲府中學校校歌

三井 甲之 作詞  
東京高等音樂學院 作曲



一、我等は日本に生まれたり  
神の御代より一系の  
皇統戴く我國に  
生まれしことのうれしさよ  
皇國の榮えは天地と  
共に窮りなかるべし

二、大和島根に山めぐる

甲斐の國あり水清き  
郷土の歴史顧みよ  
我等の務め輕からず  
見よや南に富士ヶ嶺は  
皇國の鎮めと聳えたり

三、大海原の揺りやまぬ

波をも風をも凌ぎつつ  
護れ皇國を諸共に  
國民舉りて國のため  
撓まず萎縮まず辟易がず  
進むぞ大和ごころなる



# 山梨県立甲府第一高等学校校歌

昭和23年10月22日制定  
上条 馨 作詞  
小松 清 作曲

一、甲斐の国 み中に建ちて  
古へゆ 雄心伝へ  
新しき 世の鑑とし  
勉めてむ この学舎に

二、日に新た また日に新た

弥高き のぞみをもちて  
真なる 理究め  
励みなむ 若人我等

三、聳え立つ 芙蓉の高根

清き哉 甲斐の山川  
もろともに 玉と磨きて  
賛くべし 天地の化育





## 「日新鐘」に寄せて

東京同窓会会長 井上 幸彦

(昭和三十一年卒)



東京同窓会も五十一回目を数えることとなった。

昨年は、五十回目の節目というこ

とで、初めて講演会を織り込み、しかも講師として御年九十七歳の日野原重明先生をお迎えしたこともあり、大いに盛り上がった会となった。四十六年卒の幹事団の皆様の御労苦に心から敬意を表す次第である。

さて今年は、母校創立百三十周年にあたり秋には甲府で盛大な式典が催される由である。母校に在籍した者として百三十年の歴史の一端の担い手であることを改めて誇りに思う。

今年のテーマは『Be Ambitious Again!』、今新たななる人生の扉を再び……である。

同窓会の場合は、仲間達の元気な様子を確認し、縦横の絆を深める絶好の機会であり、年齢はとっても何かにチャレンジし「今新たななる人生の扉を再び」開けるキッカケになればと願うものである。

## ごあいさつ

甲府第一高等学校校長 跡部 和

(昭和四四年卒)



平成二十二年度甲府中学校・甲府第一高等学校東京同窓会が、ここに盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、東京同窓会の皆様には、日頃より本校の発展のため、多大なる御支援、御協力をいただき深く感謝申し上げます。

本校にとりまして、今年は一八八〇年の山梨県中学校創設以来百三十年を数える記念すべき年です。現在同窓会の皆様には、そのご厚志により、生徒の主體的・創造的活動を支援する「日新基金」の創設、自習室の新設、マイクロバスの更新など、既存の「同窓会奨学金」に加え、生徒の学業文化、芸術、スポーツ活動の大きな後押しとなる記念事業を展開していただいております。なお十月二十二日には山梨県民文化ホールにおきまして記念式典を計画しております。

本校は平成二十一年度より「文化の香りがする懐の深い進学校」をキャッチフレーズに、教育課程の改善、進路指導体制の強化、授業力の向上、文化スポーツ活動の奨励を図るなかで、進路実現の向上を始めとする一層の学校活性化を目指し、教職員一同努力しております。

東京同窓会の皆様には、今後も変わらぬ御支援御協力をお願いするとともに、益々の御発展と御健勝を祈念いたします。

## 第五十一回

## 東京同窓会にあたって

平成二十二年度代表幹事 細田 仁

(昭和四七年卒)



本日もご出席いただいた同窓生の皆様、また未曾有の厳しい経済環境のなか「日新鐘」に広告出稿いただきました皆様、

物心両面から支えていただきましたすべての皆様に当番幹事一同深く感謝申し上げます。

本年はテーマを「Be Ambitious Again!」今新たななる人生の扉を再び……いたしました。

昨年五十年の節目を迎え新たな一歩を踏み出した東京同窓会。輝かしい百三十年の歴史を刻む母校甲府一高。その同窓生である我々も、これを期に新たな人生の扉を抉じ開けようとのメッセージを込めました。

本日の同窓会では、まず母校百三十年の歩みと未来への挑戦を見事に纏めたDVD「歴史の証人 歴史を築いた一高人、そして未来へ」(百二十九周年同窓会実行委員会制作)を上映します。そしてよさこいソーランを山梨で進化した甲斐の国武田踊りチーム「風林火山」の演舞をお楽しみいただきます。

「OUR GOOD DAYS」から「魁 接点50年」これらの先輩の思いを引き継いだ「Be Ambitious Again!」今新たななる人生の扉を再び……私たち47会の思いを感じていただけたら幸いです。





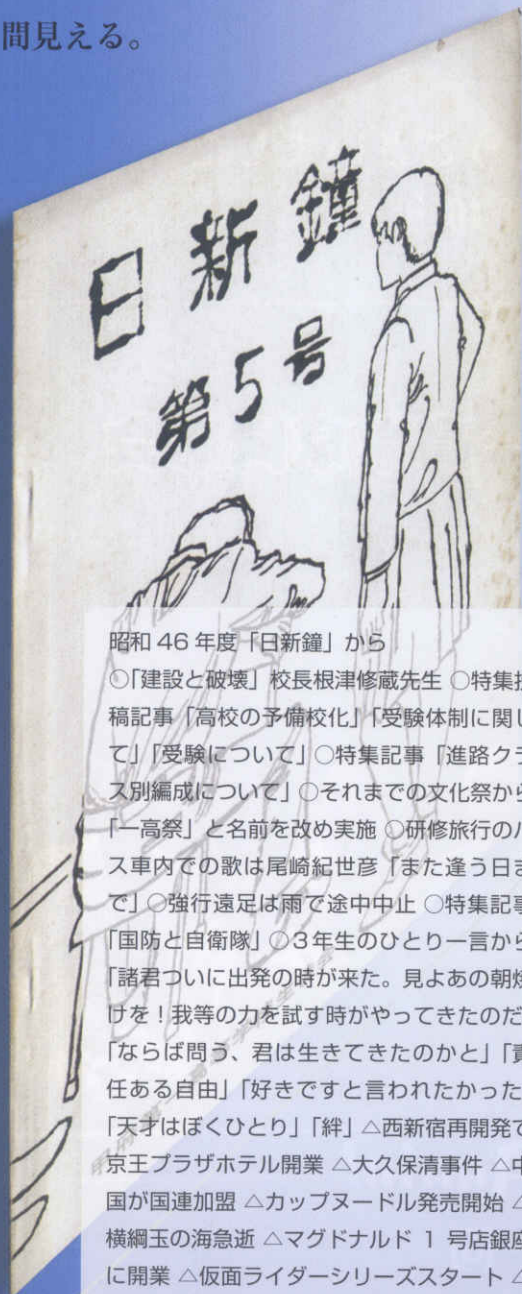
# be Ambitious!



## のこころ

### — 生徒会誌「日新鐘」とともに —

甲府一高の生徒会誌も東京同窓会の記念誌と同じ名前で「日新鐘」という。昭和42年度に創刊され、学校に確認したところ現在も続いている43号を数えるそうである。今年度東京同窓会の幹事をつとめる47年度卒も、生徒会誌「日新鐘」の黎明期甲府一高に学んだ。当時の生徒会誌には自主自立の精神、甲府中学・甲府一高の歴史に貫かれる一高らしさ「be Ambitious!」のこころも垣間見える。



昭和46年度「日新鐘」から

○「建設と破壊」校長根津修蔵先生 ○特集投稿記事「高校の予備校化」「受験体制に関して」「受験について」○特集記事「進路クラス別編成について」○それまでの文化祭から「一高祭」と名前を改め実施 ○研修旅行のバス車内での歌は尾崎紀世彦「また逢う日まで」○強行遠足は雨で途中中止 ○特集記事「国防と自衛隊」○3年生のひとり一言から「諸君ついに出発の時が来た。見よあの朝焼けを！我等の力を試す時がやってきたのだ」「ならば問う、君は生きてきたのかと」「責任ある自由」「好きですと言われたかった」「天才はぼくひとり」「絆」△西新宿再開発で京王プラザホテル開業 △大久保清事件 △中国が国連加盟 △カップヌードル発売開始 △横綱玉の海急逝 △マグドナルド1号店銀座に開業 △仮面ライダーシリーズスタート △流行語「しらけ」△流行歌「あの素晴らしい愛をもう一度」



昭和45年度「日新鐘」から

○「伝統に憶う」校長根津修蔵先生 ○特集創立90周年を迎えて・臼田のムスビ〜依田寿俊次(よわじ)伝○生徒会実施アンケートから「総合選抜に」賛成12%反対68%「校則」厳しい3%普通48%厳しくない49% ○生徒総会の議題「外出の自由について」「反戦・反安保について」「トイレの整備」○研修旅行1年白樺湖2年草津研修の議題「高校生のあり方について」「高校生の政治活動について」「高校生の悩みと解決方法」など ○生徒会の研修のテーマ「三無主義」○生徒会役員選挙7回目の告示でようやく立候補者 △玉の海・北の富士横綱同時昇進 △日本万国博覧会 △よど号ハイジャック事件△ビートルズ解散 △三島由紀夫市ヶ谷自衛隊で割腹自決 △流行語「ウーマンリブ」「三無主義」△流行歌「走れコエタロー」



昭和44年度「日新鐘」から

○「自由と責任」校長根津修蔵先生 ○一年生身延山研修旅行。夜の研修議題「クラブ活動勉強」「友情」二年生草津方面研修旅行「高校二年生における男女交際のあり方」「友情」「異性について」「現代の高校生をみつめて」など ○校内一万m入賞者1位(1年)保坂雅寛(2年)新藤公正(3年)石原光博(女子)齊藤三保・桐原恵子・岩澤三枝子同タイム ○クラブ活動入部者アンケート。全体の中での入部率53% ○当時の生徒会予算年392万円。新聞部18万5千円 △東大安田講堂の攻防 △東名高速道路西宮まで全線開通 △アポロ11号月面着陸 △青森・三沢高VS愛媛・松山商延長18回再試合△沖縄返還決まる △流行語「Oh! モーレツ」「アッと驚くタメゴロー」

## 日新鐘





# 祝 第51回甲府中学・甲府一高東京同窓会



昨年は多大なご支援、誠にありがとうございました。  
(第50回当番幹事学年 昭和46年卒)

# 祝 第51回甲府中学・甲府一高東京同窓会



be Ambitious Again!

昭和47年卒 幹事一同



51<sup>th</sup> 甲府中学・甲府一高 創立130周年  
東京同窓会記念誌

# 日新鐘

## CONTENTS

|                        |    |
|------------------------|----|
| ◇ 甲府中学・甲府一高校歌          | 1  |
| ◇ ごあいさつ                | 2  |
| ◇ be Ambitious!のころ     | 3  |
| ◇ be Ambitious!        |    |
| そしてbe Ambitious Again! |    |
| 夢の途中－伊藤重光－             | 6  |
| もっと多くの盲導犬を－井上幸彦－       | 8  |
| 地雷処理活動にかける－土井義尚－       | 9  |
| 学長としての新たな挑戦－下條文武－      | 10 |
| たった一人の挑戦－中村和男－         | 11 |
| ◇ ふるさとはいま              | 12 |
| ◇ やまなしの日本一             | 16 |
| ◇ 生活習慣の改善は難しい－山口登－     | 17 |
| ◇ 一高この一年               | 18 |
| ◇ 現役一高生のAmbitious!     | 21 |
| ◇ 一紅会講演会から             | 22 |
| ◇ 一紅会活動一覧              | 24 |
| ◇ 甲府中学・甲府一高東京同窓会活動一覧   | 26 |
| ◇ わたしの近況100字メッセージ      | 28 |
| ◇ 広告目次                 | 32 |
| ◇ 「甲斐◇風林火山」・司会者紹介      | 52 |
| ◇ 幹事のひとこと              | 53 |
| ◇ 編集後記                 | 54 |



# be Ambitious !

## そして・・・ be Ambitious Again !

甲府一高の校是「少年よ大志を抱け」のクラーク博士はあまりにも有名ですが、日本から帰国したクラーク先生が理想の大学づくりや鉱山経営に失敗した話はあまり知られていません。先生はきっと人生の最後の瞬間まで夢を追い求めた人だったのだと思います。少年の夢を実現した仲間、そして熟年の域に達してさらなるチャレンジをしている先輩たち4人を特集しました。

# 夢の途中

## 伊藤 重光

(昭和四十七年卒)



伊藤 重光さんの原点「刀子（とうす）」

生まれ育った場所の近くに、野鍛冶仕事をしているところがあったのが、すべての始まりでした。赤く焼けた鉄の塊が、みるみる形を変えていくのを、飽きずによく眺めていました。

小学校にあまり見ていた本の中に、幼い頃よく眺めていた光景のイラストが出てきて、本文を興味深く読みましたが、当時の私には内容が難しく、良く理解できませんでした。鍛冶仕事の説明で、日本刀についても

書かれておりました。妙に二つの事柄が頭に残りました。日本刀は砂鉄を原材料に作られていて、大きく古刀と新刀に分かれ、新刀は古刀を目標に作られていて、新刀以降四百年近くが経つが、誰一人としてその再現をした者がいない。この「砂鉄」と「四百年」の単語の二つは、現在まで五十年近く、頭から離れることはありません。時代の差はあっても、同じ人間が作っていてなぜ、四百年もの間作れないのか、不思議で刀そ

のものを知りたくなりました。小学校も高学年となり理科の時間に磁石と砂鉄が教材に出たことがあり、初めて砂鉄を手にした時に、もう刀の事で頭の中はいっぱいになり、気がつけば荒川の河川敷で砂鉄を集めておりました。集めてどうしようというのではなく、私の中では砂鉄と刀がイコールになっておりました。この砂鉄は後年鍛冶修業に入り、処理方法がわかった時に、鉄に還元して「刀子（とうす）」をつくりました。これが私の刀作りの原点であり一番の宝物です。刀子とは、今日のペーパーナイフのようなもので、古墳から奈良飛鳥時代に、木簡に書いた文字などを消す時に使用したりしたものです。

中学に入り、一年の夏に親しい友人に、日本刀を作ってみたい等と、自分の気持ちを語ったことがあります。その時は彼に「何夢みたいなことを言っているのか」と、一笑に付

されてしまいました。今から考えると彼は現実を良く見据えていて、私はこの頃から夢の世界に入り込んでしまっていたのかも知れません。日本刀のことをもう少し正確に話しますと、日本の黎明期に大陸や朝鮮半島から伝わった剣や直刀が、平安中期頃に反りのある湾刀と形を変え所謂日本刀となり、源平の合戦が終わり、平穏になった鎌倉期に、地鉄の美しさや刃紋の華やかさなど最高峰のものとなり、それ以降たえず鎌倉期のものが目標とされてきました。戦国時代までを古刀、安土桃山時代以降が新刀と分類されます。大量消費された戦国期に、質より量の生産方法となり、これまでの刀方法の技術の伝承が途絶えてしまいました。新刀は、鎌倉期の再現と全く新しく違う刀作りと二通りに分かれています。

私のこだわりは砂鉄にあります。戦国末期より、南蛮鉄など日本古来の製鉄法以外で作られた鉄素材材の作刀もありましたが、最高峰の物を目指すには、やはり原材料からはじめなければ、いくら似た物ができたとしても、それは似て非なるもので本物ではない。多くの人が砂鉄からの作刀に挑戦しては、既存の鉄素材に移っていきます。砂鉄からの鋼づくりは非常に不安定で、なかなか思いどおりの物ができません。室町時代に完成された大型のたたら製鉄は安定した鋼づくりができますが、鎌倉期のものとは質が違います。できない鋼に見切りをつけ、皆現実的な作刀に変わっていくなか、私は未だに夢の途中、夢に向かっていきます。





伊藤 重光 (いとう・しげみつ)

昭和28年11月5日甲府市生まれ。昭和47年甲府一高を卒業し、刀匠で人間国宝の宮入正平師（長野県坂城町）に入門。翌年刀匠・榎本貞吉師（静岡県三島市）に入門。昭和54年文化庁より作刀承認を受け、昭和55年甲府市で独立。現在全日本刀匠会会員。  
連絡先：山梨県甲府市大里町 2064 TEL (055) 241-1802





# つと多くの盲導犬を

## 井上 幸彦

(昭和三十一年卒)

盲導犬育成事業に携わるようになって早七年となる。盲導犬についての知識を全く持っていなかった自分ではあるが、視覚障害者の自立と社会参加の促進に貢献するということで、大変やり甲斐を感じ、人生の晩年を送るのにこの上ない活動（ボランティア）に巡り会えた喜びに浸っている。

現在わが国の盲導犬育成団体は、九団体あり、それぞれが独立して事業を行っている。

そして現在活躍している盲導犬の数は、全国で千五十頭弱というところである。盲導犬との生活を望んでいる視覚障害者は七千八百人程と言われており、この乖離の解消を目指すことが大きな課題である。財団を運営していく上で必須の財政基盤は、ほとんど多くの人々の善意の浄財によって支えられている実情にある。

従って、理事長としての自分の仕事は、この財政基盤を確たるものにするにあり、そのためには財団の存在感を高め、盲導犬についての幅広い理解と協力を得られるように

つとめることである。お蔭様で近年、TVドラマ「盲導犬クイール」の一生」や映画「盲導犬クイール」が放映、上映されたことと、身体障害者補助犬法が制定、施行されたこと等が追い風となって一般の理解は急速に広まってきたように思う。

ところで昨年の四月十九日には皇太子殿下、同妃殿下の当方神奈川訓練センターへの行啓を仰ぐという光栄に浴することができた。両殿下から暖かい励ましのお言葉を賜り、職員一同この感激を糧に、更に盲導犬育成事業に誇りをもって邁進することを誓い合ったものである。

盲導犬育成事業に協力いただくには、何といっても盲導犬のことを知ってもらうことである。静岡県富士宮市の人穴地区に新設されたわが協会の「日本盲導犬総合センター」（富士ハーネス）は、富士山の裾野の素晴らしい環境の中にあり、誰でもアポなしで訪ねてくださっても施設見学や実演などをご覧戴けるようになってきている。ぜひ一度足を運んでみては如何でしょうか。

◎日本盲導犬総合センター（富士ハーネス）

〒418-0102 静岡県富士宮市人穴 381 Tel.0544-29-1010

<http://www.fuji-harness.net/>

井上 幸彦（いのうえ・ゆきひこ）

昭和 12 年生まれ。甲府市出身。京都大学法学部を卒業。警察庁に入り、千葉県警本部長、警察庁警務局長などを経て平成 6 年第 80 代警視總監。オウム真理教事件の捜査の陣頭に立つ。現在、財団法人日本盲導犬協会理事長。



# 地雷処理活動にかける

土井 義尚 (昭和三六年卒)



平成十一年の春、五十六歳余で自衛隊退官、待ちに待った第二の人生。一高の直ぐ近くにある寺の次男坊として生まれたにも関わらず卒業後、和尚としての人生を選択しなかった。後ろめたさを精算する為に、先ずは曹洞宗大本山永平寺に上山し一年間の修行生活をしました。「元自衛官にして気持ちには僧侶」にまでなりました。その直後は、健康回復のため一旦会社員となり一段落していました。そこに、『カンボジア王国での地雷処理を実施するNGOを設立して欲しい』との依頼を受けました。断る積もりでしたが熱心丁寧に依頼されましたので一応現地を視察しました。平成十三年の十二月でした。予想していた状況とは違っていました。対人地雷が元凶だと思ひ込んでいたが、被害の原因は、半分が不発弾だったのです。「これは、お断りしてはいけない」との結論

に至りました。理由は、元自衛官(元陸上自衛隊武器学校長 不発弾処理教育を担当)にしか出来ない、しかも僧侶として不発弾の災禍の現状を見て何もしないで逃げていいのかとなると、決して許せないことだったからです。自己責任の範囲で、能力の範囲でほんの小規模であっても一隅を照らす存念を以って不発弾処理活動からの取り組みを始めることにしました。私にしか出来ない仕事(不発弾処理)、私に最適な仕事に巡り合った思いでした。爾来、NGOを設立(特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会 略称JMAS)(平成十四年七月から活動を開始、その後、日本政府からの贈与資金を受けてカンボジアでの地雷処理、ラオスでの不発弾処理、アフガニスタンでの軍閥解体の国際監視団及びアフガニスタンでの地雷処理へと活動の地域と内容が広まってきました。会員・支援者も増加しました。

平成十九年には同期生が山梨支部を設立して応援してくれました。大きな励みになっていきます。感謝しています。

この間「アフリカでも活動を」との期待が何回か寄せられました。JMASは、アジアに専念します。

アフリカは、元宗主国の西欧諸国がおやりになるでしょう」と言って全く見向きもせんでした。ところが、平成十九年、諸状況から日本経団連のアンゴラ経済視察ミッションの一員としてアンゴラを訪問することとなり、これを契機にアンゴラでも機械による地雷除去プロジェクトを準備せざるを得ないと納得し、平成二十年一月から本格的にアンゴラへ出て準備しました。現地代表予定者の直前辞退があり、私は、プロジェクトを引き受けた責任者として理事長を退任して自ら専門家兼現地代表となり平成二十年六月からアンゴラに常駐しています。最初は、諸手続きに難儀しましたが、平成二十一年四月から実際の除去活動を開始しています。

アンゴラ共和国は、一九七五年までポルトガルの植民地でした。独立してから二十七年間は東西代理戦争の内戦、何とか二〇〇二年に内戦が終了した若い国です。油も出る、金もダイヤモンドもある資源国家です。しかし、国民は、教育を受ける機会に恵まれませんでしたから、「人はいます人材がない」と言われる現状にあります。人を育てることと地雷の除去が急務です。アンゴラ

社会での仕事の推進は、喜びと怒りと忍耐の日々ですが、だからこそ日本からの支援、小さなNGO活動であっても大きな意味があると思っています。そうならなければと決意して地雷除去の現場にあるコンテナハウスに起居しています。

父も祖父も七十歳前後で他界しています。私もその頃だとすれば、数年しか残っていません。この先二年ほどでそれなりの成果の兆しだけでも出せるように算段しているところです。南十字星を見る度に、北の空に北極星が見えない度に、遠くに来たものだと感じています。人生の終末期、決して不遇・不運ではなく、生き応えのある時と場所と仕事に恵まれています。・・・祖国の土に居れないまま南方の海や山に眠っている英霊、その遺骨は未だ以って収集されていない状況を思えば、諸英霊に申し訳ない程、今の私の境遇がなんと幸せか言葉もありません。素直にそんな気持ちです。・・・甲斐の土に還るも、アフリカの土に成るも佳し。畳の上が宜しかろうが、草原でも路上でも不満ありません。この歳まで生きてきたことだけで既に十分満足しています。吉祥、吉祥、大吉祥です。残された仕事は、元気に生き尽くして死ぬことであって、ボケないことが何にもまして大切だと自覚しています。

アンゴラ共和国 ベンゴ州にて



土井 義尚 (どい・よしなお)  
陸上自衛隊に勤務。陸将。退職後特定非営利活動法人「日本地雷処理を支援する会」(JMAS) 理事長を経て、現在同会活動のためアフリカ、アンゴラ在。





# 学長としての新たな挑戦

## 下條文武

(昭和三十七年卒)

私が新潟大学の学長に就任して、早いもので三年目を迎えた。

二〇〇四年四月に法人化した国立大学の学長にはリーダーシップと権限が与えられ、大胆に手腕を発揮し、勝ち抜く大学運営が期待されている。甲府一高を卒業し、四方が山並みに囲まれた山梨県から新潟大学に入学し、六年間の学生生活をヨット部で過ごした私にとって学長は、さながら波高き大海原のなかに漂う木の葉の小舟を操縦するスキッパー（船長）のようであると実感している。

新潟大学の源は、今から一〇〇〜一四〇年前に遡ることができるが、新制国立大学として創立したのは、六十年前の一九四九年である。以来、今日まで東アジアにおける学術の中心を目指してきたが、十八歳人口の減少、急速なグローバル化など、大学を取り巻く社会環境はかつてないスピードで変化している。天然資源の少ない我が国にとって、グローバル化に対応し未来を担う人材の育成が、大学に課せられた大きな使命である。

その実現のため、新潟大学では新しい教育プログラムの構築を進めている。全学の学士課程に関わる五五〇〇以上の科目を全学管理とすることにより、学部

枠を取り払った授業科目の選択を可能とした。主専攻と「副専攻プログラム」の提供により、学生の幅広い学習を推進している。全国の国立大学に先駆けて導入したこの副専攻プログラムは、主専攻以外の分野での学習成果を大学として認証するシステムである。例えば法律に詳しいエンジニアや科学・環境に詳しいジャーナリストなど、学生自身のキャリアアップに役立っている。

また、新潟大学ではダブルホーム制による学生支援を展開している。専門教育を受ける学部・学科を第一のホームとするのに対し、専門の壁を超えた学生達と教職員が担当するチームで形成した第二のホームが、佐渡市や阿賀町などに出向き、各地域が抱えている問題を住民と協力して学生達自身が見つけ出して、課題解決に向けて取り組む活動である。全国で初めての学生支援システムとして注目されている。

本州日本海側唯一の政令指定都市に立地する「大規模総合大学」として、学生数一万三千人を擁する新潟大学のプレゼンスを一層強化するため、これからも私の中の「be Ambitious Again!」を燃焼させていきたい。

下條 文武（げじょう・ふみたけ）  
昭和 18 年生まれ。葦崎市出身。新潟大学医学部を卒業。ボストン大学留学、新潟大学医学部教授、病院長などを経て平成 20 年 2 月新潟大学の第 14 代学長に就任。専門は内科学。日本腎臓財団学術賞などを受賞。



# たった一人の挑戦

中村 和男

(昭和四〇年卒)

医薬品の開発を請け負うベンチャー企業を立ち上げたのは十八年前になります。八十年代後半、米国のバイオベンチャーを訪ねた時に若い研究者がトレーラーバスに寝泊りしながら実験に夢中になっているのを見たことがきっかけです。彼らは「水と電気、研究に必要な図書資料だけ使わせてくれれば、実験結果は会社に譲る。だから敷地内で実験させてくれ」と、会社に願ひ出たそうです。彼らの情熱と行動力に一撃を食らわされたような印象を受け、この時初めて活気のある元気な会社を自分の手でつくりたいと思いました。

そして、医薬品開発の世界に新しい産業を創出したいという夢を抱き、大手製薬メーカーを退職し独立しました。まさに、夢に向かっての『たった一人の挑戦』でした。

思い起こせば、常に夢を描いてきました。幼い頃に抱いていた「エンジンになりたい」という夢にはじまり、プロジェクトの成功という小さな夢から、社会を変えたいという大きな夢まで。もちろん、すべてが実現できたわけではありませんが、挫折した時でも、うまく夢を置き換え、希望を見出すことができたのは、根幹に

「患者さんに良い薬を届けたい」という不变の思いがあったから、その思いの上に、夢の枝葉が広がり、中には見事に実をつけたものもあります。そこには、多くの運が味方についてくれたことも確かではあります。やはり枝葉を枯らさぬよう絶え間ない努力と挑戦を続けてきたからだと思います。

努力を継続するためには、しっかりと根が張っていること、少しぐらいの風では倒れないような頑強な根を張っていれば、たとえ夢が叶わなくても、新たな夢を描くことができます。そして、情熱を持ち続けて取り組んでいけば、やがて臨界点に達し、自分の枠を超えることができるでしょう。夢や情熱を持つことに年齢は関係ありません。つまり、夢は生きるための糧なのです。

これまで様々な困難に挑戦し無我夢中で活動してきましたが、夢と情熱があればどんなことも乗り越えられます。難しいのはその気概を持続すること。目まぐるしく変化する現代社会の中で自分を見失うことなく、自分が何をしたいのかを見極め、その実現のために突進しよう。大切なのは『一所懸命』であることです。



中村 和男 (なかむら・かずお)

京都大学薬学部卒業後、三共(株)(現在の第一三共)に入社。1992年退職し日本最初のCRO(医薬品開発受託機関)であるシミック株式会社を創業。現在代表取締役会長兼社長。また80年代にストリート・アートで注目されたキース・ヘリングのコレクターとして知られ、2007年北杜市にキース・ヘリング美術館を開館した。

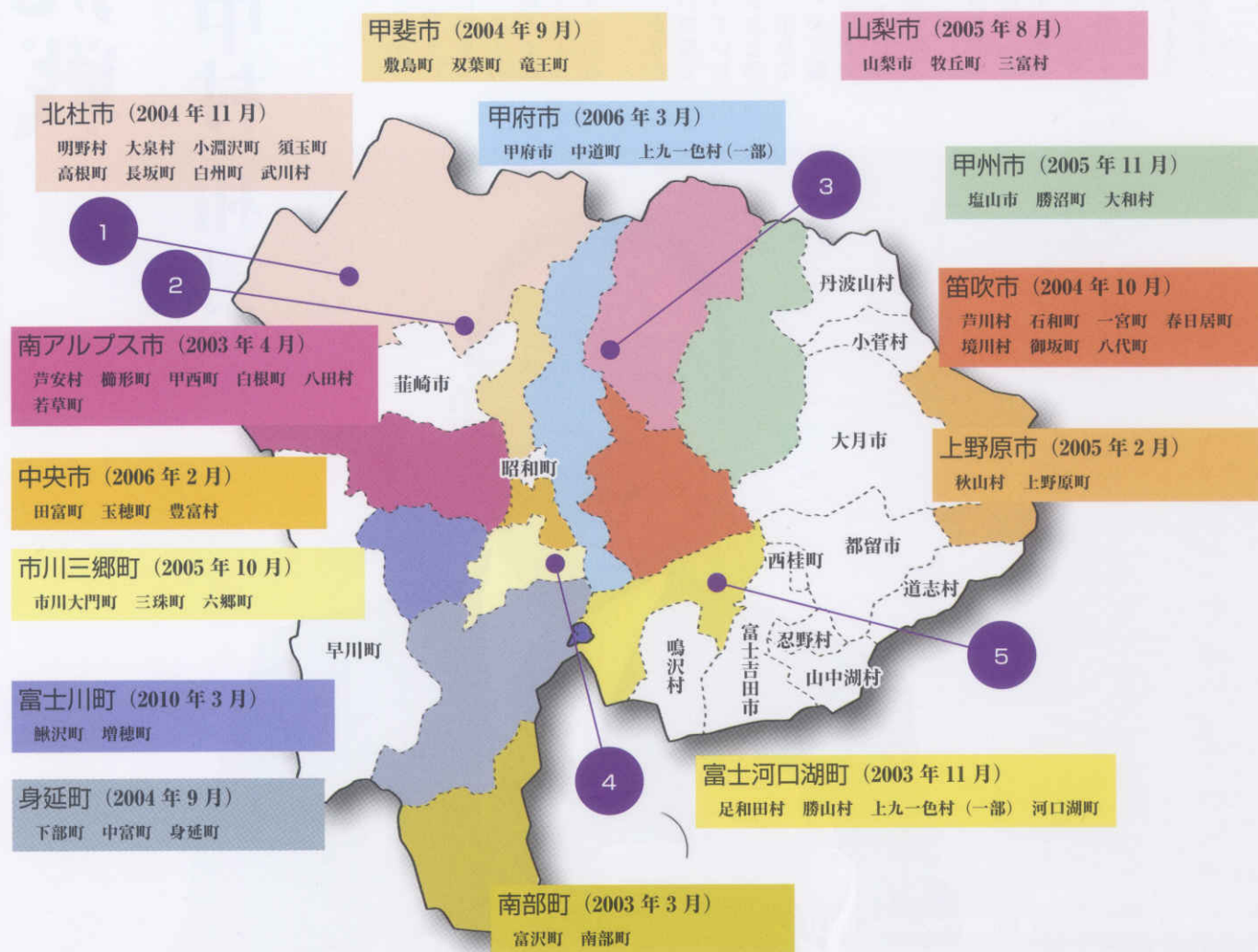


ふるさとは、いま

JR 中央線の勝沼ぶどう郷駅を過ぎると列車は大きく右へ弧を描きながら盆地へ下りていく。新宿からトンネルをいくつ抜けてきただろうか。学生時代数えたら甲府まで33だったと記憶している。初狩、笹子、勝沼・・・かつてはみなスイッチバックの駅だった。一旦止まった列車はバックして待避線のホームに入り、再び前進していく。まるで人生のように。春は桜、そして桃、さらにはすももの花が、その向こうにはアルプスの澄んだ山なみ。ここがわたしたちのふるさとだ。

## この市町村名わかる？

平成の大合併でふるさと山梨の市町村は 1960 年（昭和 35 年）当時の 7 市 37 町 20 村から 13 市 8 町 6 村（2010 年 6 月現在）、人口は 78 万 2062 人から 87 万 2724 人（2009 年 10 月現在）にもなりました。



※新しい市町名の後は合併の年月

※ふるさとを訪ねる度に商店街が寂れたと感じますが、  
実は県全体の人口は増えているのです。



# 山梨のおすすめスポット

ふるさと山梨にはこんなに素晴らしいところがあるんです。

1

## 『日本一古いといわれる桜』

### 北杜市(旧武川村)の神代桜

二千年の間、毎年咲き続けていると伝えられる「山高の神代桜」。大正11年国の天然記念物に指定されたエドヒガンザクラは立派としかいいようがありません。桜の時期は毎年4月上旬。車なら中央道須玉インターチェンジから15分です。

◎問い合わせ 実相寺 (0551)26-2740

2

## 『日本一のひまわり畑』

### 北杜市(旧明野村)のひまわり畑

明野といえば日本有数の日照率の良いところ。ここのひまわり畑はつとに知られた存在で30万本近いといえます。ここから見る甲斐駒ヶ岳なども見事で夏はブルーベリー狩りもできます。すぐ向かいには県のフラワーセンター(入場料500円)もあって家族で楽しめます。車なら中央道葎崎インターチェンジから15分。

◎北杜市のホームページで咲き具合など紹介

3

## 『盆地の夜景を一望の温泉』

新日本三大夜景とがいうのがあるそうで、山梨市のフラワーパークからのぞむ甲府盆地の夜景もそのひとつに数えられています。そこから車で5分ほど丘を登ると「ほったらかし温泉」木造の建物群は野性味にあふれ梁山泊のような雰囲気です。

◎ほったらかし温泉(入浴料700円) 営業 日の出1時間前～22時

4

もうひとつ甲府盆地の南に位置する三珠の丘にある「みたまの湯」ここからは八ヶ岳と盆地の絶景が楽しめます。

◎みたまの湯(入浴料750円) 営業 10時～23時

5

## 『旧御坂峠、天下茶屋』

「富士には月見草がよく似合う」太宰治の『富嶽百景』で知られる旧御坂峠。一時は天下茶屋も荒れ放題でしたが、現在は建物が再建され、当時のものではありませんが太宰を記念する部屋もつくられています。休日には旧道を登るマイカーも増えて、かつての賑わいを取り戻しています。富士を眺めながらのほうとうと、じゃがいもの串状のだんごは美味、おすすめです。

伊豆高原・料理の宿

伊豆のうみ

四季の旨しもの 料理理めて…



( 山梨県人会連合会 副会長 中村 忠正 )  
港区山梨県人会 会長

〒413-0232 静岡県伊東市八幡野 1741-204

TEL 0557-54-0102

http://www.izunoumi.jp





防災新館の完成予想図



北口に移転した「藤村記念館」



甲府駅北口の完成予想図

ふるさととは、いま

# 変わる甲府市中心部

大きく変わる

## 甲府駅北口

甲府駅北口が大きく変わります。駅舎は武田通りに向かって正面に位置。近くには武田神社境内にあった藤村記念館がすでに移転、駅前には県立図書館のほか飯田からNHK甲府放送局もやってくる。

過疎化？

## その名も舞鶴小学校

春日小、相生小、穴切小といえは卒業した人も多いでしょう。平成十七年この三つの学校が統合され春日小用地に舞鶴小が誕生。校歌は甲府市出身の「THE BOOM」宮沢和史さんの作詞・作曲。

元中込・元甲府西武は  
県民情報プラザから  
防災新館へ

戦後すぐに誕生した中込百貨店、昭和四十八年アーバン中込、そして西友中込、さらに甲府西武、平成十年閉店。県民情報プラザだったが現在取り壊し中。新たに地上11階建ての県の防災新館となる。平成二十五年十月供用開始予定。防災関係のほか1階にふるさと物産のセンターができる。

## 「自然環境を活かした新庁舎」 市役所全面改築へ

甲府市役所新庁舎は平成二十五年五月供用開始予定。地上10階地下1階。建物外周にぶどう棚をイメージした太陽光パネルが配置されるほか、地中熱、輻射熱、自然採光など自然環境を活かした建物に。



甲府市役所の完成予想図（外観）



甲府市役所の完成予想図（内部）

※写真、完成予想図は甲府市・山梨県提供



**CMIC**

Pharmaceutical Value Creator

日本初のCRO（医薬品開発受託機関）から、  
今、世界でも類のない医薬品総合受託産業へ

医薬品分野に新しい価値を創出し、  
人々の健康を支える企業グループを目指します

シミック株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO 中村和男（昭和40年卒）

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4  
tel.03-5745-7070 fax.03-5745-7077 http://www.cmic.co.jp





甲府一高の前身、甲府中学が現在の県庁のある場所からこの地に移転したのは昭和三年。  
多くの卒業生が学んだ風格ある正面玄関の校舎は平成五年新しい建物に変わりました。  
ほかの校舎や体育館、プールなども新しくなり、かつての面影を残しているのは、be Ambitiousの碑や南に望む富士、西に聳えるアルプスの山なみくらいです。

## 甲府一高キャンパス



わたしたちの原点



現在の一高校舎



テニスコートも変わりました

日新ホールはいまは駐輪場

# 母校とその近辺

## 鳳華楼

ここでもやしそばやラーメンを食べた思い出のある人も多いのでは。ご主人の中丸勲さんは四年前七三歳で亡くなり、店は妻の夢可予さん（七六歳）と息子さんで守っている。ちなみにラーメン五百円。夢可予さんは「いまは学校も厳しくなり、生徒が来るのはテストで早く終わったときくらい」と話していました。



なつかしいもやしそば



お元気な中丸夢可予さん



いまでも安い

## 望月商店

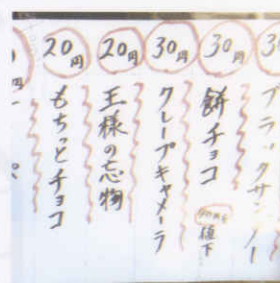
学校帰りに良くここでおでんを食べお世話になった。岩夫さん（八一歳）福子さん（八〇歳）のご夫婦が経営するお店は五〇年。いまではそのおでんの販売もなくなり、福子さん「最近はおもう商売にならないね」でもおふたりはお元気な様子でした。



こちらもお元気望月さんご夫婦



店内は昔のまま



いまでも生徒の味方



HAUSERU JAPAN CORPORATION

株式会社 ハウセルジャパン

〒102-0082 東京都千代田区一番町7-1 一番町弘和ビル

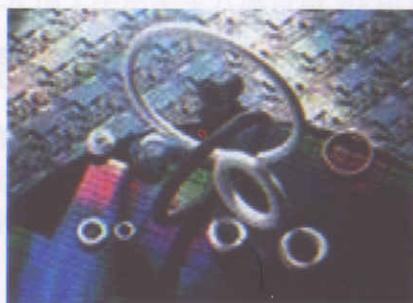
Tel. 03-3288-0591 Fax. 03-3288-0593

URL: <http://www.hauserujapan.co.jp>

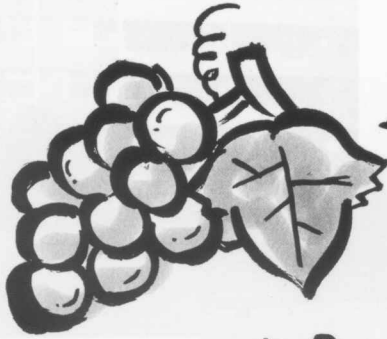
半導体製造装置用シール材

カルレッツ®

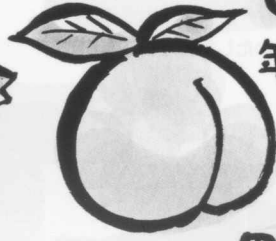
ベスペル®







**ぶどうの生産量**  
年間4万8千トンあまりで  
全国の24%  
2位は長野県



**ももの生産量**  
年間5万2千トンあまりで  
全国の34%  
2位は福島県

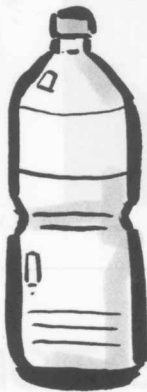


**すももの生産量**  
年間9千トンあまりで  
全国の35%  
2位は和歌山県



**果実酒(ワインを含む)  
出荷額**

年間147億円で  
全国の29%



**ミネラルウォーターの  
出荷額**

年間198億円で  
全国の29%



**空家率20.2%**  
2位は長野県19.0%  
最も低い沖縄は10.2%

# 塚原会計事務所

〒193-0835 東京都八王子市千人町 4-10-10 TEL 0426-66-7140 FAX 0426-66-7142

塚原 徹 (昭和45年)

安売、リストラ、過払請求どれもこれも行過である。  
弁護士も会計士も数だけ増えて困ったもんだ。  
世の中しょっちゅう様式変わり、保険手続なんぞだったらウルサイ。  
いやな世の中になったもんだ。

Toku Furukawa  
Zhou Yuan Che  
塚原 徹





# 生活習慣の改善は難しい

山口 登 (昭和 47 年卒)

昭和 28 年山梨県生まれ。秋田大学医学部を卒業後、国立病院医療センター（現、国立国際医療センター）を経て聖マリアンナ医科大学教授。専門は臨床精神薬理学、老年精神医学。著書に「認知症予防学」（明治書院）など。

二〇一〇（平成二十二年）年五月十三日、朝日新聞夕刊に「自殺十二年連続三万人台」という記事が記載されていた。警察庁によると、二〇〇九（平成二十一年）の日本の自殺者数は三万二千八百四十五人で、十二年連続で三万人を上回ったという。一日平均九十人が自殺した計算にな

る。都道府県別自殺率（人口十万人あたりの自殺者数）は、1位…山梨県四一・九、2位…秋田県四〇・〇、3位…青森県三九・四、…そして、47位（最下位）…神奈川県二〇・五の順であった。この結果を知り、驚きと同時に暗い複雑な気持ちになった。私が高校生まで過ごした山梨が1位で、現在住んでいる神奈川県が最下位である。この集計では、自殺者は住所所地ではなく、発生地で分類するため、自殺多発地がある都道府県は数値が高くなる傾向にあるのだが、出身地の山梨県が神奈川県との倍以上の自殺率であった。山梨県は生きにくいのか？ そして、七一・四％が男性で、50歳代、60歳代に多い。自殺の原因（特定可能七四・四％）の内訳は「健康問題」四八・三％、「経済・生活問題」二五・五％、「家庭問題」十二・五％の順であり、1位の健康問題では「うつ病」が最多であった。

私は現在、神奈川県川崎市にある聖マリアンナ医科大学神経科学教室に教員として勤務している。附属する大学病院神経精神科、初診患者さんの診断病名の調査では、1位…気分障害（主にうつ病）四三％、2位…器質性精神障害（主

に認知症二四％、3位…神経症性（不安）障害一七％、4位…統合失調症一三％、その他三％であった。このように「うつ病」と「認知症」で三分の二を占める。人口構成の高齢化とともに、中高年期発症の抑うつ、不安、そして認知症に関連する受診者が増加している。これらの疾患の背景には、加齢に伴う生物学的変化および中高年期特有の社会的・心理的变化など多要因の関与が予想される。したがって、長寿の果てには、誰もが発症する可能性を秘めているのである。

中高年期の精神疾患リスクの一端は種々のストレスが関与すると考えられる生活習慣病にあるという。肥満や高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病がうつ病や認知症の危険性を高める。加齢とともに複数の疾患が併存し、「生活習慣病の川下にあるのは、身体疾患ばかりでなく、うつ病や認知症をはじめとする中高年期精神疾患である」と言うのが国際的な共通の認識である。中年期からの生活習慣の改善は、老年期を楽しむ幸福に過ごすための処方箋と言える。病気を患ってから治療に専念するよりも、ならないように努力をすること（一次予防）の方が、ずっと気が楽で、恐らくその医療および経済効果も大きいことが推定されている。現実問題として、うつ病、アラルハイマー病（認知症をきたす第一の疾患）とも原因の詳細は不明であり、基本的には対症的な治療のみで、根本的な原因治療は困難である。すなわち、現状では「予防に勝る介入はない」と言える。しかし、これが非常に難しい。

日販

2010  
国民読書年

まごころこめて読者まで



日本出版販売株式会社

代表取締役社長 古屋 文明

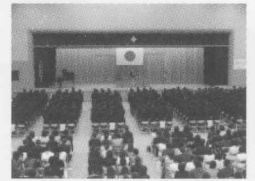
〒101-8710 東京都千代田区神田駿河台4-3

PHONE:03-3233-1111(代) FAX:03-3292-8521 URL <http://www.nippan.co.jp/>



April 4

## 入学式



四月八日入学式が行われました。今年度は、普通科二四一名、英語科四〇名、計二八一名の新入生を迎え、本校体育館で行われました。跡部校長は式辞の中で、「高い目標を立てて、物事に積極的にチャレンジすることが大切である。」と述べられました。

## 応援練習

四月十四日～十六日、一年生を対象に体育館で応援練習が行われました。



# 甲府一高この一年

母校のこの一年(平成21年4月～22年3月)を甲府一高のご協力を得てまとめました。わたしたち卒業生の募金によって実現した自習室や新しいマイクロバスの購入などの紹介もあります。

五月十三日、小瀬スポーツ公園陸上競技場で総合開会式が行われました。競技は十五日までおこなわれ、甲府一高は男女あわせて二十九種目に出場しました。

■男子総合9位・・・優勝(テニス・アーチェリー)、2位(山岳)、4位(ソフトテニス)、6位(ハンド)



## 第六十一回 山梨県高等学校 総合体育大会

May 5



## 一高祭

June 6



ボール、ベスト16(剣道・サッカー)  
■女子総合28位・・・優勝(アーチェリー)、4位(山岳)、ベスト8(ソフトテニス)

六月二八日から二日間にわたり一高祭がはじまりました。開祭式のあと、体育館で文化局発表があり、一般公開がありました。たくさんの方が来校されて、クラス展示や似顔絵、部展示、クラス新聞など見ていただきました。





七月十一日に行われた開会式で本校の山本大喜主将が選手宣誓を行いました。十二日、富士北麓球場で行われた白根高校との1回戦では残念ながら0対5で敗れました。



## 全国高校野球 山梨県大会

July 7



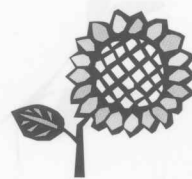
## 自習室完成

一三〇周年記念事業の一環として、北館二階に学習用ブースやエアコンが設置された「自習室」が完成しました。早朝より生徒に人気です。同窓会の皆様ありがとうございます。



完成した自習室

August 8



## オープンスクール

八月二十二日(土)に本校において「オープンスクール」が行われました。午前と午後の二回に分けて、部活動披露・施設見学・体

September 9



## 理科エネルギー研修

九月二十六日(土)一・二年生八〇名がバス二台で黒四ダムと高瀬川テプコ館を見学に行きました。



体験授業(数学)



施設見学

験授業等が行われ、中学生・保護者が約六五〇名参加しました。

October 10



## 創立記念講演

十月二十一日(水)本校の同窓生である、新潟大学学長 下條文武先生をお招きして記念講演が行われました。



Ambitious Again にも登場 下條先生



黒四ダム

## 第八十三回

## 強行遠足

十月十日～十一日に、本校最大の行事である強行遠足が行われました。男子は学校から長野県小海まで、女子は須玉から野辺山まで歩きました。

### 第83回強行遠足参加

### 到着状況

| 男子 | 参加者数 | 参加率   | 到着者数 | 到着率   |
|----|------|-------|------|-------|
| 3年 | 142  | 95.3% | 54   | 38.0% |
| 2年 | 154  | 95.7% | 82   | 53.2% |
| 1年 | 142  | 95.9% | 57   | 40.1% |
| 全体 | 438  | 95.6% | 193  | 44.1% |

| 女子 | 参加者数 | 参加率   | 到着者数 | 到着率   |
|----|------|-------|------|-------|
| 3年 | 127  | 96.9% | 126  | 99.2% |
| 2年 | 112  | 96.6% | 110  | 98.2% |
| 1年 | 131  | 98.5% | 131  | 100%  |
| 全体 | 370  | 97.4% | 367  | 99.2% |



男子出発

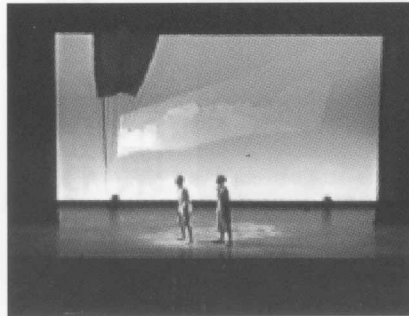


November 11

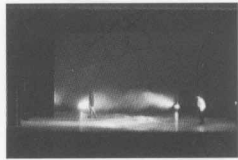


## 県高校演劇大会

演劇部が、県高校演劇大会（県高校芸術文化祭・演劇部門）で最優秀賞・芸術文化祭賞・創作脚本賞を受賞しました。



異空間



非現実（戦争）

December 12



先輩の寄付が役立っています

## マイクロバス寄贈

創立一三〇周年記念事業協賛会よりマイクロバスが寄贈されました。

January 1



## しじみ汁の

## 岡部勝男さん 御逝去

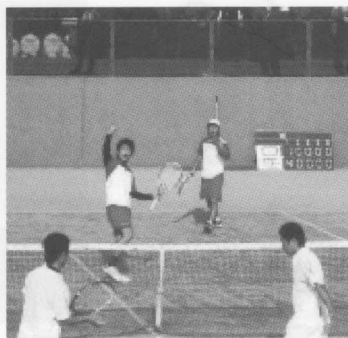
野辺山と言えば名物のしじみ汁を思い起こされる方も多いと思います。岡部勝男氏ご夫妻には四十年以上も前からご尽力いただいています。十三年前の丸山氏（日新食堂マスター）亡き後からは、しじみの購入から水道の配管や大釜のセットなど、しじみ汁作りを一手に引き受けてくださっていました。その道具や器材は大量のものであり、職員・保護者はその準



February 2



## 全国選抜 高校テニス大会



備をする時に、強行遠足が伝統ある行事であることを改めて思い知らされるのでした。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 第三十二回全国選抜高校テニス

大会の出場校が五日決まり、県内からは男子で甲府一高が関東地区大会で十位に入り、全国選抜高校テニス大会への出場権を獲得しました（七年ぶり三回目）。三月の全国大会では一回戦鈴鹿（東海五位）に逆転勝ち二回戦に進みました。

March 3



## 卒業式

二八〇名の卒業生が母校を巣立っていきました。





Bigになる S.T. 自立 K  
 子供心を 持ち続ける! Y.F.  
 可愛い大人になる! D  
 For others, 日本と海外をつなぐパイプ役になる K.H.  
 with others S.F.  
 自己満足で 終わらない N.K.  
 何色にも染まらない 自分であり続ける H.K.  
 努力を惜しまない人になる N.K.  
 パン屋になって 世界中に 店を出す A.Y.  
 一生満足 していたい! K.K.  
 歩き続ける K.S.  
 信念を貫く T.K.  
 夢を持ち続ける A.H.  
 常識のある人になる N.M.  
 いい人になる! T.H.  
 前向きに 生きる!! M.Y.  
 ポニョに 会いたいぞ Y.T.  
 安定した職につけり T.T.  
 華のある人になる N.H.  
 どんな時も 希望をもてる人になりたい A.S.  
 打倒東京大学 東大志望 S.F.  
 地震予知の研究 T.Y.  
 身長+20cm!! M.Y.  
 立派な 一人になる K.T.  
 人の心を動かせる 人になりたい A.O.  
 新フロイト派の研究 M.H.  
 映画監督になって 世界中を感動させるような 映画を撮る K.R.  
 とりあえず 志望校合格!! M.R.  
 何事もパーフェクトに K.S.  
 貧困を ばかす K.M.  
 人の上に 立ちたい K.  
 次のことを実践したい。  
 「ぜんたいの幸福なくして 個人の幸福はありえない」 K.M.  
 世界中で活躍 したいな! D.E.

# 私の ambitious!!

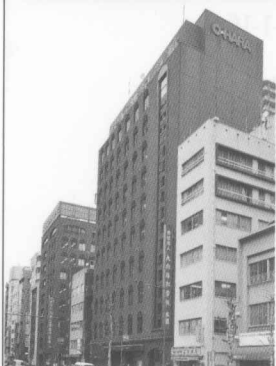
デッカイ大人になる N.M.

## 現役一高生「私の Ambitious」

○BIGな人になる ○自立 ○For others with others ○自己満足で終わらない ○日本と海外をつなぐパイプ役になる ○安定した職につきたい ○華のある人になる ○子ども心を持ち続ける ○打倒東京大学・東大志望 ○地震予知の研究 ○身長+20センチ ○映画監督になって世界中を感動させるような映画を撮る ○貧困をなくす ○常識のある人になる ○人の上に立ちたい ○パン屋になって世界中に店を出す ○心の広い人になる ○どんな時も希望をもてる人になりたい ○信念を貫く ○「ぜんたいの幸福なくして個人の幸福はありえない」 ○ポニョに会いたい ○人の心を動かせる人になりたい ○何色にも染まらない自分であり続ける ○夢を持ち続ける ○歩き続ける ○とりあえず志望校合格 ○新フロイト派の研究 ○一生満足していたい ○前向きに生きる ○努力を惜しまない人になる ○可愛い大人になる ○同窓会を超える ○デッカイ大人になる ○世界で活躍したいな ○何事もパーフェクトに ○立派な一人になる

TVCMでおなじみ!

# 本気になったら大原!



### 信頼と実績の大原

## 就職率 96.6%

(2010年3月卒業生 首都圏専門課程実績 就職希望者1,725名中1,667名)

## 公務員 92.6%

(1次筆記試験合格率)

(2010年3月 首都圏専門課程実績 948名中878名)

充実のコースラインナップ

- 会計士・税理士 ■ 情報SE・経理 ■ ゲーム・CG・アニメ
- 医療・保育・福祉 ■ スポーツビジネス ■ 公務員

信頼の大原ネットワーク

札幌・函館・仙台・水道橋・池袋・立川・町田・横浜・千葉・津田沼・柏・大宮・高崎※  
 長野・新潟・富山・福井・金沢※・静岡・浜松・名古屋・新大阪・難波・梅田・神戸・京都・  
 和歌山・愛媛・福岡・小倉・宮崎・沖縄 ※2011年4月開校予定(認可申請中)

大原簿記学校

大原法律専門学校

大原医療秘書福祉専門学校

大原情報ビジネス専門学校

〒101-8351 東京都千代田区西神田2-4-11  
 ホームページ <http://www.o-hara.ac.jp/s/k/>

TEL 03-3237-8711  
 メール info@o-hara.ac.jp



第13回 一紅会主催「春の講演会」

# 言葉の魔力に魅せられて

～伝える楽しみ・伝わる喜び

豊かなコミュニケーションのために～

文・河野 美沙子

(昭和47年卒)



浅川 初美 氏

恒例の一紅会「春の講演会」は、小雨模様の肌寒い日にも関わらず、三〇二名の参加者を得て開催された。

今回の講師は、昭和四十七年卒、山梨放送 放送本部報道制作担当補佐兼アナウンス部長の浅川初美さん。浅川さんは山梨放送初の女性管理職でもある。報道番組のメインキャスターとして現場を

指揮しながら後進の育成にもあたっている。当日は、三十四年間「言葉」に関わってこられた浅川さんに「言葉」について語っていただいた。

まず、クリアな日本語を話すための発音練習から始まった。聞き取りやすい日本語を話すために大切なのは言葉の最後にくる5つの母音ということで、「ア」「エ」「イ」「オ」「ウ」を会場も一緒に声を出して練習。それぞれの音の口の形、位置を意識して発音することがポイントになる。実際に一音一音をしっかりと出してみると、言葉の明瞭度が変わるのが実感される。

次に、言葉の「読み」「アクセント」「音の消失」などの変化について。早急の読み方は「さつきゅう」から「そうきゅう」へ。「彼氏」「パンツ」などアクセントは平板に。そして鼻濁音の消失。こうした変化は受け入れざるを得ないが、日本語として耳で聞いたときの感じを大事にしていきたい。

最後に言葉の一番大きな役割である人とコミュニケーションすることについて。

会話はキャッチボールであるという。話上手は聞き上手、言葉というボールを投げながらキャッチする。そして言葉だけではなく表情、態度も大切な要素になる。良い聞き手になるために感情豊かに、心を動かして聞く。

このときにうまく使いたいのが相槌。相槌には「確認」「同意」「催促」「驚き」「疑問」「喜び」「同情」などがあるが、甲州弁の「てっ」はこのひ

と言で実に表情豊かに相槌ができるという。甲州弁の懐かしい響きに会場はひととき和んだ。

現代は24時間インターネットや携帯メールで言葉のやり取りができる。しかし、これは本当のコミュニケーションではない。やはり人と向き合っ言葉で言葉を交わす、相手の表情や態度にも心することが大切で、今の時代は人と向き合うことが苦手になっているのではないかという指摘にはいろいろと考えさせられた。

浅川さんの講演は、内容もさることながらその声の響きの美しさも楽しんだ。明るさと華やかさを併せ持つ講演会であった。

\*この講演会の音声データを47年卒のHPで聞くことができます。ぜひ聞いてみてください。

<http://khs47tokyo.web.fc2.com/>



東京同窓会 井上会長、一紅会 飯田会長と

## 医療法人社団慈広会

女性に優しい腹腔鏡手術専門病院

### 矢崎病院

住所：神奈川県綾瀬市上土棚中1-1-16

TEL：0467-76-6211

診療科目：胃腸科・外科・婦人科

### 介護老人保護施設メイプル

住所：神奈川県綾瀬市吉岡2361-7

TEL：0467-76-8001

URL：<http://www.jikoukai.com/>

理事長 矢崎 浩 (35年卒)

院長 三神 俊史 (44年卒)





# 飛躍する 同窓文化

一紅会会長

飯田 富美子

(昭和 33 年卒)

日頃は一紅会に深いご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。  
「第十三回春の講演会」も無事、盛況裡に終わりました。同窓生はじめ一紅会幹事の皆様に感謝しております。

さて、一紅会も創設以来十四年が経ちました。お蔭様で講演会活動も年毎に成果があり、東京同窓会の一翼としての役割を果たしてまいりました。

更に講演会後のフォローアップ研修として、講演会を契機に寄せられました「もっと勉強したい」という勉強意欲にお応えして、第8回講演会講師の渡辺房男先生を囲んで歴史研究同好会を立ち上げ、室内学習会やフィールドへの歴史散策などを重ねながら「幕末維新への旅」の勉強を続けております。5月には版籍奉還により解散した徳川家臣団の舞台となった牧ノ原、大井川遺跡見学のバスツアーを行いました。

また十月には、昨年の講演会講師守屋正彦先生を中心に「中世のトップリーダー探しの旅」として、素晴らしい甲斐の国を訪ねる企画もございます。

一紅会の講演会も新たな意義を加えて、広がりと深まりも増してきました。これからもより充実した活動を目指して努力する所存でございます。

同窓文化の更なる飛躍を期して皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 一紅会 講演会を聞いて

市川 京子

(昭和 47 年卒)

とても盛り上がった講演会でした。まず講師の浅川さんがアナウンサー歴三十四年という経験を生かし、磨き上げられた発声で、美しい日本語を話されるので、つい引き込まれていきました。また「母音」の正しい発声法を教材を用いてやさしく解説して下さいました。

また会場の皆さんも実際に声を出して練習しました。やってみると、なかなか難しいものでした。圧巻は浅川さんが毎日やっているという発声練習の早口ことばの披露でした。みごとな発声に会場からは拍手が起きました。また甲州弁についてのお話も皆さんをひきつけました。誰もが標準語だと思っていたアクセント・言葉が方言だったとは……。

会場全体が山梨の郷愁、同郷の輪というものが出来上がり、とても温かい雰囲気になりました。限られた時間でしたので、また機会があったら、もっとお話を聞きたいと名残惜しさを残した素晴らしい講演会でした。



飯能ゴルフクラブ

理事長 井垣 昭

〒357-0013 埼玉県飯能市芦荻場495

TEL 042-972-3680 FAX 042-972-3685

ホームページ <http://hannogc.co.jp/>

お蔭様で開場50周年を迎えました。  
皆様のご来場をお待ち申し上げます。



| 平成 15 年 (2003)                                               | 平成 16 年 (2004)                                                                                          | 平成 17 年 (2005)                                  | 平成 18 年 (2006)                                                                                                  | 平成 19 年 (2007)                                                                                    | 平成 20 年 (2008)                                                                            | 平成 21 年 (2009)                                                               | 平成 22 年 (2010)                                                        |
|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 昭和 40 年卒                                                     | 昭和 41 年卒                                                                                                | 昭和 42 年卒                                        | 昭和 43 年卒                                                                                                        | 昭和 44 年卒                                                                                          | 昭和 45 年卒                                                                                  | 昭和 46 年卒                                                                     | 昭和 47 年卒                                                              |
| 第 21 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H14/11/13 (水)<br>・副会長代行追記          | 第 24 回幹事会<br>神宮前区民会館<br>H15/11/28 (金)<br>・副会長代行追記<br>・役員改選選挙新会長<br>副会長選出<br>・会長任期中途辞任                   | 第 28 回幹事会<br>(株) ジャステック<br>会議室<br>H16/11/26 (金) | 第 32 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H17/11/29 (火)<br>・役員選出<br>・「春の講演会」<br>について                                           | 第 35 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H18/12/19 (火)<br>・「春の講演会」<br>について                                      | 第 38 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H19/11/26 (月)<br>・役員選出<br>・「春の講演会」<br>について                     | 第 41 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H20/11/26 (水)<br>・「春の講演会」<br>について                 | 第 44 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H21/11/27 (金)<br>・役員選出<br>・「春の講演会」<br>について |
| 第 6 回新春講演会<br>H15/1/18 (土)<br>山本久氏<br>アルカディア市ヶ谷              | 第 7 回新春講演会<br>H16/1/31 (土)<br>中村和男氏<br>アルカディア市ヶ谷                                                        | 第 8 回新春講演会<br>H17/2/5 (土)<br>渡辺房男氏<br>アルカディア市ヶ谷 | 第 9 回春の講演会<br>H18/3/21 (火・祝日)<br>林 義子氏<br>アルカディア市ヶ谷                                                             | 第 10 回記念<br>春の講演会<br>H19/3/10 (土)<br>渡辺利夫氏<br>アルカディア市ヶ谷                                           | 第 11 回<br>春の講演会<br>H20/3/8 (土)<br>田沼靖一氏<br>アルカディア市ヶ谷                                      | 第 12 回春の講演会<br>H21/3/7 (土)<br>守屋正彦氏<br>アルカディア市ヶ谷                             | 第 13 回春の講演会<br>H22/3/6 (土)<br>浅川初美氏<br>アルカディア市ヶ谷                      |
| 表参道バルバコア<br>H15/2/7 (金)                                      | 第 25 回臨時幹事会<br>神宮前区民会館<br>・新役員就任<br>・会則改定追記<br>H16/2/6 (金)                                              | 第 29 回幹事会<br>(株) ジャステック<br>会議室<br>H17/3/10 (木)  |                                                                                                                 |                                                                                                   |                                                                                           |                                                                              |                                                                       |
| H15/5/7 (水)<br>東京會館                                          | H16/5/11 (火)<br>東京會館<br>飯田一紅会会長<br>副会長新任                                                                | H17/5/10 (火)<br>東京會館                            | H18/5/9 (火)<br>東京會館<br>飯田一紅会会長<br>副会長再任                                                                         | H19/5/8 (火)<br>東京會館                                                                               | H20/5/8 (木)<br>東京會館<br>飯田一紅会会長<br>副会長再任                                                   | H21/5/13 (水)<br>東京會館                                                         | H22/5/12 (水)<br>東京會館<br>飯田一紅会会長<br>副会長再任                              |
| 第 22 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H15/6/27 (金)<br>一紅会の存続可否か<br>継続討論  | 第 26 回幹事会<br>神宮前区民会館<br>H16/6/23 (金)                                                                    | 第 30 回幹事会<br>(株) ジャステック<br>会議室<br>H17/6/22 (水)  | 第 33 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H18/6/27 (火)<br>第 9 回講演会の反省<br>第 10 回講演会の企画                                          | 第 36 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H19/7/3 (火)<br>第 10 回講演会の反省<br>第 11 回講演会の企画                            | 第 39 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H20/6/27 (金)<br>第 11 回講演会の反省<br>第 12 回講演会の企画<br>今後の活動方針        | 第 42 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H21/6/26 (金)<br>第 12 回講演会の反省<br>第 13 回講演会の企画      | 第 45 回幹事会<br>東京ウィメンズプラザ<br>H22/6/29 (火)<br>第 13 回講演会反省<br>第 14 回講演会企画 |
| H15/7/11 (金)<br>東京會館                                         | H16/7/9 (金)<br>東京會館                                                                                     | H17/7/8 (金)<br>東京會館                             | H18/7/8 (土)<br>東京會館                                                                                             | H19/7/21 (土)<br>東京會館                                                                              | H20/7/26 (土)<br>東京會館                                                                      | H21/7/11 (土)<br>東京會館                                                         | H22/7/10 (土)<br>東京會館                                                  |
| 第 23 回幹事会<br>東商スカイルーム<br>※次回幹事会にて<br>一紅会存続可否かを<br>決定する       | 第 27 回幹事会<br>新宿中村屋本店<br>5F レミザ                                                                          | 第 31 回幹事会<br>篠田洋行<br>潮見オフィス会議室                  | 第 34 回幹事会<br>東京會館富国ビル店<br>「パピヨン」<br>・18 年度活動報告及び<br>会計報告<br>・第 10 回「春の講演会」<br>について<br>・43 年卒から 44 年卒<br>へ当番幹事引継 | 第 37 回幹事会<br>東京會館富国ビル店<br>「パピヨン」<br>・活動報告及び会計報告<br>・「春の講演会」について<br>・当番幹事引継<br>・会計交代承認/<br>新：三田富貴子 | 第 40 回幹事会<br>ホテル銀座ラフィナート<br>「アニエスカフェ」<br>・20 年度活動報告及<br>び会計報告<br>・「春の講演会」について<br>・当番幹事引継ぎ | 第 43 回幹事会<br>ホテル銀座ラフィナート<br>「アニエスカフェ」<br>活動報告及び会計報告<br>「春の講演会」について<br>当番幹事引継 |                                                                       |
| H15/9/19 (金)                                                 | H16/9/24 (金)                                                                                            | H17/9/22 (木)                                    | H18/9/27 (水)                                                                                                    | H19/9/26 (水)                                                                                      | H20/9/26 (金)                                                                              | H21/9/29 (火)                                                                 |                                                                       |
| プロジェクト会合                                                     | プロジェクト会合                                                                                                | プロジェクト会合                                        | プロジェクト会合                                                                                                        | プロジェクト会合                                                                                          | プロジェクト会合                                                                                  | プロジェクト会合                                                                     | プロジェクト会合                                                              |
| 「一紅会」副会長代行が<br>必要になった時は、学<br>年幹事がこれを行う<br>・会計改選<br>新会計 宇野由美子 | ・「一紅会」会長<br>副会長改選<br>新会長 飯田富美子<br>新副会長 水谷園江<br>を選出<br>「一紅会」会則改訂追記<br>・2 月の臨時幹事会は<br>新春講演会の反省会を<br>兼ねて開催 |                                                 | 「一紅会」会長、<br>副会長、会計改選<br>全員再任                                                                                    |                                                                                                   | 「一紅会」<br>会長・副会長、<br>会計改選<br>会長再任<br>飯田富美子<br>新副会長<br>竹中みゆき<br>会計<br>三田富貴子                 |                                                                              | 「一紅会」<br>会長・副会長改選<br>会長 (再任)<br>飯田富美子<br>副会長 (再任)<br>竹中みゆき            |



# 甲府一高東京同窓会「一紅会」の各年度活動一覧表

| 年 度               | 平成 8 年 (1996)                                                                                              | 平成 9 年 (1997)                                   | 平成 10 年 (1998)                                             | 平成 11 年 (1999)                                   | 平成 12 年 (2000)                                        | 平成 13 年 (2001)                                                                              | 平成 14 年 (2002)                                                                                 |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当番学年              | 昭和 33 年卒                                                                                                   | 昭和 34 年卒                                        | 昭和 35 年卒                                                   | 昭和 36 年卒                                         | 昭和 37 年卒                                              | 昭和 38 年卒                                                                                    | 昭和 39 年卒                                                                                       |
| 一紅会幹事会            | 第 1 回幹事会<br>東京會館シェロッシーニ<br>H8/3/7 (火)<br>〈会則作成チーム会合〉                                                       | 第 4 回幹事会<br>東京會館シェロッシーニ<br>H9/1/29 (火)          | 新春講演会<br>銀座東武ホテル<br>ロジェドール<br>H10/1/12 (月)<br><br>プロジェクト会合 | 第 8 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H10/11/11 (木)           | 第 11 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H11/11/10 (火)               | 第 14 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H12/11/13 (月)<br>・会計承認<br>・会則追記                                   | 第 17 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H13/11/6 (火)                                                         |
| 一紅会新春講演会          |                                                                                                            |                                                 | 第 1 回新春講演会<br>H10/1/17 (土)<br>尾辻紀子氏<br>銀座東武ホテルロジェドール       | 第 2 回新春講演会<br>H11/1/23 (土)<br>井上幸彦氏<br>四谷アーバンクラブ | 第 3 回新春講演会<br>H12/1/15 (土)<br>平野忠彦氏<br>一ツ橋 如水会館       | 第 4 回新春講演会<br>H13/1/20 (土)<br>島田紀夫氏<br>アルカディア市ヶ谷                                            | 第 5 回新春講演会<br>H14/1/26 (土)<br>丸山昭氏<br>アルカディア市ヶ谷                                                |
| 反省会               |                                                                                                            |                                                 | 理事会<br>H10/1/17 (土)                                        | 四谷アーバンクラブ<br>H11/2/12 (金)                        | 四谷アーバンクラブ<br>H12/1/27 (木)                             | アルカディア市ヶ谷<br>H13/2/15 (木)                                                                   | 銀座高松建設夢工房<br>H14/2/19 (火)                                                                      |
| 東京同窓会幹事会          | H8/4/25 (火)<br>S28 ~ 33 年卒<br>理事のみ                                                                         | H9/4/25 (月)<br>「一紅会」幹事全員<br>東京同窓会幹事             | H10/4/22 (水)<br>東京同窓会副会長に<br>一紅会会長就任決<br>渡辺一紅会会長<br>副会長に新任 | H11/4/13 (火)<br>東京會館                             | H12/5/15 (月)<br>東京會館<br>五十嵐一紅会会長<br>副会長新任             | H13/5/9 (水)<br>東京會館                                                                         | H14/5/9 (木)<br>東京會館<br>五十嵐一紅会会長<br>副会長再任                                                       |
| 一紅会幹事会            | 第 2 回幹事会<br>東京會館シェロッシーニ<br>H8/5/29 (水)                                                                     | 理事のみ<br>東京會館シェロッシーニ<br>H9/6/1 (水)<br>※「一紅会」会則検討 | 第 6 回幹事会<br>東京會館シェロッシーニ<br>H10/6/17 (水)                    | 第 9 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H11/7/10 (火)            | 第 12 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H12/6/15 (木)                | 第 15 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H13/6/20 (水)                                                      | 第 18 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H14/4/5 (金)<br>一紅会会長再任<br><br>第 19 回幹事会<br>四谷アーバンクラブ<br>H14/6/28 (金) |
| 東京同窓会             | H8/7/3 (水)<br>東京會館                                                                                         | H9/7/2 (月)<br>東京會館                              | H10/7/8 (水)<br>東京會館                                        | H11/7/10 (土)<br>東京會館                             | H12/7/14 (金)<br>東京會館                                  | H13/7/13 (金)<br>東京會館                                                                        | H14/7/12 (金)<br>東京會館                                                                           |
| 一紅会幹事会            | 第 3 回幹事会<br>東京會館シェロッシーニ                                                                                    | 第 5 回幹事会<br>霞ヶ関東京會館                             | 第 7 回幹事会<br>銀座ロジェドール                                       | 第 11 回幹事会<br>パレスホテル                              | 第 13 回幹事会<br>ホテルフラロシオン青山                              | 第 16 回幹事会<br>シャージュッド                                                                        | 第 20 回幹事会<br>ホテルインター<br>コンチネンタル<br>東京ベイ                                                        |
| 引継会               | H8/9/25 (水)                                                                                                | H9/7/16 (水)<br>※会則承認                            | H10/7/29 (水)                                               | H11/7/26 (月)                                     | H12/7/28 (金)                                          | H13/8/24 (金)                                                                                | H14/9/13 (金)                                                                                   |
| 新春講演会<br>プロジェクト会合 |                                                                                                            | 新春講演会提案<br>プロジェクト有志決定                           | プロジェクトチーム発足                                                | プロジェクト会合                                         | プロジェクト会合                                              | プロジェクト会合                                                                                    | プロジェクト会合                                                                                       |
| 特記事項              | 「一紅会」発足<br>H8/3/7<br><br>会長<br>渡辺圭子<br>副会長<br>五十嵐節子<br>会則プロジェクト<br><br>平成 7 年東京同窓会より<br>女性ネットワークの<br>会設立要請 | 「一紅会」会則<br>10 条施行<br>年度は、<br>9/1 ~ 8/31         | 東京同窓会<br>副会長に<br>「一紅会」会長就任                                 | 東京同窓会より<br>「一紅会」への謝辞                             | 「一紅会」役員改選<br>会 長<br>五十嵐節子<br>副会長<br>井上若子<br><br>※会則検討 | 「一紅会」会則追記<br>第 5 条<br><br>・会計 1 名理事会の総<br>意で選出<br><br>・任期はいずれも 2 年<br>間とし再任を妨げない<br>・会計小松寿恵 | 「一紅会」会長<br>再任 五十嵐節子<br><br>・副会長未選出                                                             |



# 平成22年度 第51回

| 平成13年度                                                                                            | 平成14年度                                                                                         | 平成15年度                                                                     | 平成16年度                                                                                | 平成17年度                                                                          | 平成18年度                                                                                                                          | 平成19年度                                                                                                                            | 平成20年度                                                                                             | 平成21年度                                                                                                                                | 平成22年度                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和38・54年卒                                                                                         | 昭和39・55年卒                                                                                      | 昭和40・56年卒                                                                  | 昭和41年卒                                                                                | 昭和42年卒                                                                          | 昭和43年卒                                                                                                                          | 昭和44・60年卒                                                                                                                         | 昭和45年卒                                                                                             | 昭和46年卒                                                                                                                                | 昭和47・63年卒                                                                                                                                      |
| 9月12日(水)<br>銀行倶楽部                                                                                 | 9月17日(火)<br>銀行倶楽部                                                                              | 9月26日(金)<br>銀行倶楽部                                                          | 9月30日(木)<br>銀行倶楽部                                                                     | 9月29日(木)<br>銀行倶楽部                                                               | 9月27日(火)<br>銀行倶楽部                                                                                                               | 9月26日(火)<br>銀行倶楽部                                                                                                                 | 9月18日(火)<br>銀行倶楽部                                                                                  | 9月12日(金)<br>銀行倶楽部                                                                                                                     | 9月14日(月)<br>銀行倶楽部                                                                                                                              |
| 4月5日(木)<br>東京會館                                                                                   | 2月22日(金)<br>東京會館                                                                               | 3月17日(月)<br>東京會館                                                           | 2月23日(月)<br>東京會館                                                                      | 2月22日(火)<br>東京會館                                                                | 2月20日(月)<br>東京會館                                                                                                                | 2月21日(水)<br>東京會館                                                                                                                  | 2月20日(水)<br>東京會館                                                                                   | 2月18日(水)<br>東京會館                                                                                                                      | 2月8日(月)<br>東京會館                                                                                                                                |
| 5月9日(水)<br>東京會館                                                                                   | 5月9日(木)<br>東京會館                                                                                | 5月7日(水)<br>東京會館                                                            | 5月11日(火)<br>東京會館                                                                      | 5月10日(火)<br>東京會館                                                                | 5月9日(火)<br>東京會館                                                                                                                 | 5月8日(火)<br>東京會館                                                                                                                   | 5月8日(木)<br>東京會館                                                                                    | 5月13日(水)<br>東京會館                                                                                                                      | 5月12日(水)<br>東京會館                                                                                                                               |
| 7月13日(金)<br>東京會館                                                                                  | 7月12日(金)<br>東京會館                                                                               | 7月11日(金)<br>東京會館                                                           | 7月9日(金)<br>東京會館                                                                       | 7月8日(金)<br>東京會館                                                                 | 7月8日(土)<br>東京會館                                                                                                                 | 7月21日(土)<br>東京會館                                                                                                                  | 7月26日(土)<br>東京會館                                                                                   | 7月11日(土)<br>東京會館                                                                                                                      | 7月10日(土)<br>東京會館                                                                                                                               |
| 470名<br>(女性85名)<br>(来賓7、特別<br>会員29含む)                                                             | 462名<br>(女性78名)<br>(来賓13、特別<br>会員22含む)                                                         | 495名<br>(女性105名)<br>(来賓12、特別<br>会員24含む)                                    | 389名<br>(女性79名)<br>(来賓15、特別<br>会員25含む)                                                | 471名<br>(来賓15、特別<br>会員22含む)                                                     | 537名<br>(来賓19を含む)                                                                                                               | 591名<br>(来賓17を含む)                                                                                                                 | 528名<br>(来賓17を含む)                                                                                  | 591名<br>(来賓20を含む)                                                                                                                     | 目標500名                                                                                                                                         |
| 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                    | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                 | 男性<br>¥9,000<br>女性<br>¥9,000                                               | 男性<br>¥8,000<br>女性<br>¥8,000                                                          | 男性<br>¥9,000<br>女性<br>¥9,000                                                    | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                                                  | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                                                    | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                     | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                                                        | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                                                                 |
| ¥530,222                                                                                          | ¥485,625                                                                                       | ¥1,575,350                                                                 | ¥504,455                                                                              | ¥855,767                                                                        | ¥891,533                                                                                                                        | ¥905,933                                                                                                                          | ¥844,107                                                                                           | ¥880,403                                                                                                                              |                                                                                                                                                |
| 独唱 伊東 剛<br><br>伴奏 田中 明<br>子<br>司会 伊藤 英<br>敏(元YBSアナ<br>ウンサー)<br>合唱38会合唱<br>団<br>クイズ・甲斐の<br>国、不思議発見 | 懐かしのスイン<br>グジャズ特集<br><br>39年卒を中心<br>とするプラスパ<br>ンド部、応援部<br>OBによるスイン<br>グジャズ、マン<br>ボ、ルンバの<br>生演奏 | 笹本 茂晴<br><br>カルテット<br>(BGM)                                                | ・独唱(41年卒)<br>中嶋 啓子<br>梶 圭子<br>ピアノ伴奏<br>・BGM<br>ピアノ演奏<br>・甲州ワイン試<br>飲<br>ワインアドバイ<br>ザー | ・シャンソン独<br>唱(42年卒)<br>大原ひさのり<br>オーケストラ、<br>斉藤澄、松土正<br>一他<br>・ほうとう、甲州<br>ワインサービス | ・伝説のジャズ<br>ドラマー<br>森山 威男<br>(38年卒)<br>・一高現役ブラ<br>スバンド演奏                                                                         | ・音楽部OB弦楽<br>合奏団+川上洋司<br>(歌唱、44年卒)と<br>MJO+プラスパ<br>ンドOBの演奏<br>※<br>MJO<br>(Mondaynight<br>Jazz Orchestra)<br>は、44年卒小林正<br>家氏主宰のバンド | ・東京藝術大学<br>音楽部生バンド<br>MantoVivoに<br>よるBig Band<br>Jazz演奏<br>・強行遠足ピテ<br>オ放映<br>・司会 小俣雅<br>子         | ・50周年記念講演<br>日野原重明聖路<br>加国際病院理事<br>長「石橋湛山先生<br>と私と生涯現役<br>100歳を生きる」<br>・御崎神社神事<br>・信田和雄バンド<br>のオールデーズ<br>演奏(寺内たけし<br>&BJのキー<br>ボード奏者) | ・「歴史の証人、歴<br>史を築いた一高<br>人、そして未来<br>へ」(129周年<br>同窓会実行委員<br>会制作)<br>・よさこい甲斐の<br>国武田踊り「風林<br>火山」宴舞:川中<br>島の戦い<br>・司会:望月啓太<br>(平成8年卒)NH<br>Kアナウンサー |
| ・テーマ:<br>「新世紀共生の時代<br>へ」                                                                          | ・テーマ:<br>「改革そして未来」                                                                             | ・テーマ:<br>「草のように樹のよ<br>うに」                                                  | ・テーマ:<br>「結び直そう同窓<br>の絆」<br>・東京同窓会名簿<br>作成配布                                          | ・テーマ:「今、新た<br>なり、同窓の詩」                                                          | ・テーマ:<br>「甦れ!鶴城魂」                                                                                                               | ・テーマ:<br>「たて・よこ織りな<br>す絆」                                                                                                         | ・テーマ:<br>「OUR<br>GOOD<br>DAYS」                                                                     | ・テーマ:<br>「"魁 接点"50<br>年!」                                                                                                             | ・テーマ:<br>「be Ambitious<br>Again! 今新た<br>なる人生の扉を再<br>び!」                                                                                        |
| ・日新鐘第8号発行                                                                                         | ・日新鐘第9号発行                                                                                      | ・日新鐘第10号発行                                                                 | ・日新鐘第11号発行                                                                            | ・日新鐘第12号発行                                                                      | ・日新鐘第13号発行                                                                                                                      | ・日新鐘第14号発行                                                                                                                        | ・日新鐘第15号発行                                                                                         | ・日新鐘第16号発行                                                                                                                            | ・日新鐘第17号発行                                                                                                                                     |
| 秋山哲郎新顧問                                                                                           | ・役員改選<br>渡辺新名誉会長<br>恩田新会長<br>田中新副会長<br>伊東新監事<br>小宮山新顧問                                         |                                                                            | ・役員改選<br>飯田副会長新任<br>他再任                                                               | ・名誉会員<br>会費規約改正                                                                 | ・最高顧問規約改正<br>・役員改選                                                                                                              |                                                                                                                                   | ・役員改選                                                                                              |                                                                                                                                       | ・役員改選                                                                                                                                          |
| (幹事長)<br>竹内紘司<br>(副幹事長)<br>堀内 高<br>矢口百合子<br><br>(事務局長)<br>山田常夫<br><br>(38年卒)                      | (幹事長)<br>飯島善一郎<br>(副幹事長)<br>波羅芳武<br>小林牧子<br><br>(事務局長)<br>笠井 収<br><br>(39年卒)                   | (幹事長)<br>原 護<br>(副幹事長)<br>佐野允夫<br>水谷園江<br><br>(事務局長)<br>斉藤勝人<br><br>(40年卒) | (幹事長)<br>高木悦子<br>(副幹事長)<br>内藤茂好<br>小針直美<br><br>(事務局長)<br>高木悦子/<br>小針直美<br><br>(41年卒)  | (幹事長)<br>横澤良次<br>(副幹事長)<br>八田政恭<br>宇野文子<br><br>(事務局長)<br>八田政恭<br><br>(42年卒)     | (幹事長)<br>池田秀雄<br>(事務局長)<br>油井純雄<br>(副幹事長)<br>竹中みゆき/野沢春海<br>加藤まゆみ/平賀博子<br>大野陽造/諸角英良<br>柳本教仁/門西米一<br>猪股賢太郎/小木曾博<br>両角益資<br>(43年卒) | (幹事長)<br>清水 昭<br>(副幹事長)<br>峯川文江<br>萩原能成<br>中村芳文<br>仲澤孝次<br><br>(事務局長)<br>京島博文<br><br>(44年卒)                                       | (幹事長)<br>設楽 久敬<br>(副幹事長)<br>山下昌彦<br>飯島登美夫<br>相川正樹<br>村上真理子<br>三井三枝子<br>(事務局長)<br>渡邊東<br><br>(45年卒) | (幹事長)<br>中嶋文夫<br>(副幹事長)<br>野呂瀬秀樹<br>清水勝<br>山下恵子<br>西野裕子<br>矢寄裕子<br>(事務局長)<br>清水勝<br><br>(46年卒)                                        | (代表幹事)<br>細田 仁<br>(事務局長)<br>玄間 稔<br>(各代会長)<br>岩澤忠彦<br>渡辺正文<br>大野文人<br>中込敏夫<br>高石光雄<br>小川早苗<br>山田陽子<br>(47年卒)                                   |

# 甲府中学・甲府一高 東京同窓会 各年度活動一覧

| 年 度             | 平成4年度                                  | 平成5年度                          | 平成6年度                                 | 平成7年度                                                                                                                                                    | 平成8年度                                                                       | 平成9年度                                                                                                                      | 平成10年度                                                               | 平成11年度                                                                        | 平成12年度                                                                                                                    |
|-----------------|----------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当番学年            | 昭和29・45年卒                              | 昭和30・46年卒                      | 昭和31・47年卒                             | 昭和32・48年卒                                                                                                                                                | 昭和33・49年卒                                                                   | 昭和34・50年卒                                                                                                                  | 昭和35・51年卒                                                            | 昭和36・52年卒                                                                     | 昭和37・53年卒                                                                                                                 |
| 引継会             | 7月22日(月)<br>東条会館                       | 9月16日(水)<br>銀座ライオン             | 9月1日(日)<br>新宿駅 好蘭                     | 9月22日(木)<br>五反田ROCビル                                                                                                                                     | 9月19日(火)<br>銀座らん月                                                           | 9月10日(火)<br>銀行倶楽部                                                                                                          | 9月9日(火)<br>東京會館                                                      | 9月9日(水)<br>銀行倶楽部                                                              | 9月29日(金)<br>銀行倶楽部                                                                                                         |
| 正・副会長会<br>(役員会) |                                        |                                |                                       |                                                                                                                                                          |                                                                             |                                                                                                                            |                                                                      |                                                                               |                                                                                                                           |
| 学年代表<br>幹事会     | 4月17日(金)<br>東京駅 精養軒                    | 4月8日(火)<br>東京駅 精養軒             | 4月7日(火)<br>東京駅 精養軒                    | 4月21日(金)<br>銀座東武ホテル                                                                                                                                      | 4月25日(火)<br>東京會館                                                            | 4月21日(月)<br>霞が関 東京會館                                                                                                       | 4月22日(水)<br>東京會館                                                     | 4月13日(火)<br>東京會館                                                              | 5月15日(月)<br>東京會館                                                                                                          |
| 総 会             | 6月11日(木)<br>上野 精養軒                     | 6月17日(木)<br>上野 精養軒             | 6月17日(金)<br>上野 精養軒                    | 6月2日(金)<br>銀座東武ホテル                                                                                                                                       | 7月3日(水)<br>東京會館                                                             | 7月2日(月)<br>東京會館                                                                                                            | 7月8日(水)<br>東京會館                                                      | 7月10日(土)<br>東京會館                                                              | 7月14日(金)<br>東京會館                                                                                                          |
| 出席者数            | 291名<br>(女性35名)                        | 239名<br>(女性28名)                | 294名<br>(女性16名)<br>(来賓7、特別<br>会員17含む) | 342名<br>(女性37名)<br>(来賓6、特別<br>会員15含む)                                                                                                                    | 528名<br>(女性83名)<br>(来賓6、特別<br>会員22含む)                                       | 534名<br>(女性101名)<br>(来賓6、特別<br>会員20含む)                                                                                     | 531名<br>(女性102名)<br>(来賓5、特別<br>会員27含む)                               | 468名<br>(女性92名)<br>(来賓7、特別<br>会員17含む)                                         | 505名<br>(女性89名)<br>(来賓7、特別<br>会員17含む)                                                                                     |
| 会 費             | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥8,000          | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥8,000  | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥8,000         | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥8,000                                                                                                                            | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥8,000                                               | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥8,000                                                                                              | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥8,000                                        | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                | 男性<br>¥10,000<br>女性<br>¥10,000                                                                                            |
| 年次繰越金           | ¥873,757                               | ¥326,703                       | ¥386,841                              | ¥430,019                                                                                                                                                 | ¥210,640                                                                    | ¥413,109                                                                                                                   | ¥426,597                                                             | ¥528,340                                                                      | ¥489,350                                                                                                                  |
| 催し物             | 映画:<br>空からみた甲府<br>母校校舎写真<br>(3枚組)      | 映画:<br>我、学舎で化育<br>甲府一高校<br>舎物語 | 平野忠彦独唱                                | 若尾他1名<br><br>BGM演奏<br>(ピアノ、フルー<br>ト)                                                                                                                     | 林 ひろみ<br><br>川上 洋次<br>歌唱<br>特産即売コーナ                                         | 金森 静子<br>独唱<br><br>古今亭寿輔<br>司会と小唄                                                                                          | ロックバンド<br>生演奏<br><br>ダンスタイム<br>司会 保坂正紀<br>(51年卒)テレ<br>ビ朝日アナウン<br>サー  | ・合唱<br>音羽ゆりかご会<br>・太鼓 日本太鼓<br>同好会(潮見台<br>みどり幼稚園)                              | ・チアリーダー<br>による演技<br>・福引                                                                                                   |
| 特 記             | ・母校改築にして寄<br>付金カンパに協力<br><br>・日新鐘第1号発行 | ・名刺交換帳を企画<br>するも中止となる          | ・同窓会名簿作成<br>(無料配布)                    | ・テーマ:<br>「縦の交流」<br>女性部会発足<br><br>・日新鐘第2号発行<br>・渡辺会長「山梨県<br>人会連合会」会長<br>に就任<br>・副会長、監事退任<br>・新任副会長:伴<br>野、秋山(哲)、内<br>藤、石川<br>監事:小宮山、飯野<br>顧問:河西、大森、<br>立川 | ・女性ネットワーク<br>「一紅会」発足<br>・総会出席者名簿<br>作成・配布<br>・基金募集<br>244,520円<br>・日新鐘第3号発行 | ・テーマ:<br>「夢みつづけて」<br>・一紅会各学年代<br>表者を幹事として<br>登録幹事会に出席<br><br>・日新鐘第4号発行<br>・強行遠足70回記<br>念誌を販売<br>・同窓会をボラロ<br>イドカメラで撮影<br>配布 | ・テーマ:<br>「メモリーズオブユー」<br>・一紅会会長 東<br>京同窓会の副会長<br>に就任<br><br>・日新鐘第5号発行 | ・テーマ:<br>「いい日 outcomes」<br>・初めて土曜日昼<br>に開催<br><br>・日新鐘第6号発行                   | ・テーマ:<br>「いま、新たなチャ<br>レンジ」<br><br>・日新鐘第7号発行<br>・役員改選<br>・新任副会長:恩<br>田、神山、井上、笠<br>井、五十嵐<br>監事:小宮山、内藤<br>顧問:大森、立川、<br>伴野、飯野 |
| 当番学年<br>代表幹事    | 石川 眞吾<br><br>(29年卒)                    | 神山 茂<br><br>(30年卒)             | 名取 正<br><br>(31年卒)                    | 保科 儒一<br><br>(32年卒)                                                                                                                                      | 笠井 莞爾<br><br>(33年卒)                                                         | 内藤 勲<br><br>(34年卒)                                                                                                         | 田中 友昭<br><br>(35年卒)                                                  | (幹事長)<br>土川俊雄<br>(副幹事長)<br>太田東洋男<br>前馬美代子<br><br>(事務局長)<br>中村敏男<br><br>(36年卒) | (幹事長)<br>雨宮 忠<br>(副幹事長)<br>廣池哲夫<br>小松寿恵<br><br>(事務局長)<br>樋泉靖志<br><br>(37年卒)                                               |



# 100 字 私の近況

ホームページ入力とファックスでお送りいただいた「わたしの近況」6月10日までにいただいたものを掲載しています。なお、冒頭に今回ご欠席の3人の先生方から近況報告をいただきました。

**鈴木 智治 先生** 47年卒の男子クラスみなさんと「智玄会」という会で年に一度楽しいひとときを過ごしています。84歳。去年秋体調を崩しましたが、いまは回復に努めているところです。

**新海 博恭 先生** 韭崎高校の校長で退職後20年。ことし2月80歳になりました。50坪ほどの家庭菜園の世話をし晴耕雨読の生活です。毎日NHKのテレビ体操を欠かさず健康に過ごしています。

**天野 進 先生** 4月、自宅の階段から転落、大怪我。5月、虫垂炎をこじらせて入院。退職後の私の課題は「穏やかに老いる」ということだったが、不穏な日々。家人ははじめ人々に迷惑ばかりかけている。健康を過信しすぎたと反省している。そんなわけで欠席です。

**渡辺 恒法** (昭和24年卒) 朝5時起床。善福寺川散策、ラジオ体操会で鍛錬し、新宿コマ劇場の裏にある事務所へ出勤。借地訴訟や税務の評価業務をし午後は現地を踏査する。杉並に戻り晩酌を楽しみ早寝する。私に定年はない。新宿県人会会長。

**宮沢 晃平** (昭和27年卒) 早大卒業後NHK入局。社会部、国際部担当、沖縄返還、よど号事件など歴史に残る取材は想い出深い。生涯現役が信条。現在日本記者クラブ会員、早大商議員、早大狛江稲門会会長。同好会の俳句、英会話等でボケ防止に努め腰痛治療でリハビリ中。

**若尾 和子** (昭和32年卒) 6月3日、日新会ゴルフコンペで32年卒2回目の団体優勝いたしました。60余中、女性5名参加、72歳の姥が115打にも関わらず優勝賞金を頂戴しました。後輩女性の参加お待ちします、次の優勝は、あなた、

**桜井 実** (昭和33年卒) 南アルプス市にある安藤家住宅をモチーフに描いた絵を6月1日に寄贈し皆さんに大変喜んでいただき満足感でいっぱいです。

**保坂 嘉郷** (昭和34年卒) 古希を迎え趣味三昧の毎日です。5つの趣味を「いい・加減」と「我が・まま」をモットーにして楽しんでいます。が、その中のひとつに武田氏史蹟探訪があり「武田氏研究会」などの行事に参加しています。

**田尻 邦夫** (昭和36年卒) 2年前経営の第一線を退いた後も、東京に個人事務所、自宅は兵庫県芦屋市と二重生活が続いています。また「骨太な社会人を育てる」という目的のNPO法人の代表をしており、学生たちとの切磋琢磨の日々です。

**石田 周而** (昭和37年卒) マグロ漁業の業界団体のお手伝いをしていますが、国際的に操業条件が厳しくなり、漁業を続けていかれるかどうか、将来性が心配されます。

## ||||||| 信 頼 施 工 |||||

爆破土木、構造物発破解体、温泉掘削・設備、鉄構製品



**株式会社カコー**

代表取締役会長

**伊 東 昭** (昭和34年卒)

本社／東京都千代田区神田西福田町4-1 Tel.03-3255-7770 Fax.03-3255-7780

支店・営業所／東京、仙台、千葉、知多、名古屋、大阪、広島、福岡〔URL <http://www.kacoh.co.jp/>〕

- 河原 道雄** 8年前から歌手活動を行い、昨年から会社勤務も止め歌手一本でやっています。歌手名はマイク河原。神奈川中  
(昭和 37 年卒) 心で活動中。歌や活動の詳細は、マイク河原で検索しホームページでご覧下さい。応援をお願いします。
- 風間 昭彦** 時代の変化。老人問題の新類型「迷惑老人の出現」、社会問題の新類型「3 組に 1 組の離婚」、子供問題の新類型  
(昭和 39 年卒) 「離婚夫婦の子供の増加」。変化に対応する新たな社会システム構築に挑戦。
- 山本 秀彦** 当番幹事になった年に、1 年限りの予定で東京同窓会ホームページを始めたのが、公式サイト扱いとしていた  
(昭和 41 年卒) だき、7 年目になりました。今後ともインターネットを活用して同窓の絆を繋いで行きたいと思います。
- 茂手木 寛** 東京にはんこ屋さんをオープンしました。印章・ゴム印・名刺等を取り扱っています。東京同窓会のみなさんは  
(昭和 42 年卒) 非ご利用ください。神田駅南口日銀通りです。しるし屋さんといいます。h-motegi@motegi-kk.com 迄！
- 飯野(浅川)初美** 一紅会・講演会では大変お世話になりました。今山梨では甲州弁が大ブーム。YBS ラジオでも先日、特番『いい  
(昭和 47 年卒) じゃん甲州弁』を放送しました。「ふるさとの訛りなつかし AM 7 6 5」東京でも、一部地域で聴取可！
- 岩澤 忠彦** 松江・甲府・広島・東京・山口・甲府・東京・大阪・東京と転勤人生。アナウンサーから記者まで経験、いまは港区愛  
(昭和 47 年卒) 宕の高層ビルにある放送文化研究所で働いています。高校時代から 30 キロ増のメタボおじさんです。
- 上村 英子** ここ数年国家試験に挑戦しています。しかし、今年は当番幹事の会計係の仕事と二次会盛り上げ役が忙しく試  
(昭和 47 年卒) 験の合格が危うい状況です。その上、夫のある身でありながら、ある男性に恋しています。ヨン様～！
- 大野 文人** 昨年、社会人枠で東京海洋大学大学院食品流通安全管理博士前期課程(修士)を終了、国際基準の ISO22000(食品  
(昭和 47 年卒) 安全マネジメントシステム)の審査員補の資格も取ったのですが、仕事には結びついておらず、トホホの状態。
- 小川 早苗** 高校で始めた合唱を今も続けています。3 年前にはドイツの教会でミサ曲を歌いました。他のグループでは、介  
(昭和 47 年卒) 護施設を訪問してミニコンサート。認知症の方の硬い表情が柔らかくほぐれる様子は感動ものです。
- 長田 政博** 3 年 2 組の長田政博です。H 1 6 年当番幹事時に再会した仲間と月 1 回の山行を今も続けてます。百名山登頂も  
(昭和 47 年卒) 時間の問題？それにしても佐田千鶴・志村美沙子の脚力向上には目をみはる！興味ある仲間の連絡を待つ！
- 玄間 稔** 今は仕事より当番幹事作業の方が多くなっています。他に、子供達を育ててくれた地域に恩返しの意味も込め  
(昭和 47 年卒) て公民館ボランティア活動を 8 年続けているため、退職後は NPO 活動に参加出来ればと思っています。
- 佐藤 みどり** 昨年秋に我が家の老嬢犬(18 歳)が亡くなり、ふわふわ動き回っていた姿を懐かしんでいます。今春には娘も結  
(昭和 47 年卒) 婚し、夫婦二人きりの生活に戻りました。お互い、欠点を半眼で見ながら趣味に開眼しています。

olive

TEL047-702-7680

営業時間 9:00~18:00  
定休日:水曜日

美容室 オリーブ

♪北総線「松飛台駅」  
から南へ徒歩 2 分♪



〒272-0801 千葉県市川市大町 122-74

ids 石原ヒサシ  
DANCE SCHOOL

石原久 (S42 年卒)

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 1 丁目 2 番地ランゴスタビル 3F

Tel 03-3235-5311

Fax 03-3260-2133

WebSite <http://ishiharadance.com>  
Email [info@ishiharadance.com](mailto:info@ishiharadance.com)



- 清水 久子** 南米3週間の旅を経験。4000mの高地や120<sup>°</sup>。四方の塩湖という過酷な環境にあっても、人々の表情は柔和で温厚でした。また、循環型社会に暮らす彼らから、あらためて人は自然の一部である事を実感させて貰いました。  
(昭和47年卒)
- 志村 純子** 仕事を続けながら子育てをし、その娘も巣立ちの時を迎えつつある今、寂しくも喜ばしい気持ちです。「あなたは、あなた以上でもあなた以下でもない」と言う母の言葉や周囲の人との絆に支えられ今日まで来ました。  
(昭和47年卒)
- 高石 光雄** 400床の病院の院長をしています。管理業務も増えていますが、医師不足のため医師としての業務も増加の一途です。激務に耐えながらも、高校時代に決意した初心を忘れるなど自らに言い聞かせている毎日です。  
(昭和47年卒)
- 高地 貞雄** 仕事柄、全国各地に出張することが多く、既に全都道府県制覇を達成しています。定年まであと4年。今年入社した若手の新人と行動をともにしながら、すべての仕事を引き継いでもらうべく奮闘している毎日です。  
(昭和47年卒)
- 田中 茂樹** 税理士業31年目となりました。27歳と25歳の娘2人の父親ですが「お父さん、まだまだお世話になります。」とのこと。それって、相手がいないってことじゃないの！肩の荷が下りないな～。  
(昭和47年卒)
- 中込 敏夫** 当番幹事となり活動を始めた矢先、7月1日付けで、会社を分割して新会社を発足させることとなった。同窓会の活動とまさに重なってしまったではないか。果たして十分な活動が出来るか不安だけど、頑張ろう。  
(昭和47年卒)
- 内藤(三谷)紀久美** 昨年からジュエリーのネットショップを立ち上げ、日々がんばっています。楽天とyahooに『embellish』という名前で2店舗出しています。週末は、健康のためゴルフとトレッキングを楽しんでいます。  
(昭和47年卒)
- 七沢 久子** 山梨県甲府市里吉の地で、七沢歯科医院として二人の子供(歯科医師)とともに診療に携わっております。また、現在、山梨県歯科衛生専門学校校長として4年目を迎えました。  
(昭和47年卒)
- 新津 茂夫** 40年前の電気物理クラブでTVカメラを作ったのが人生の始まりで、秋葉原にあこがれて東京の大学に。会社もそのまま電気会社でビデオ用半導体開発を。今は現場から退いて今度は自分でしかできない物作りを模索中。  
(昭和47年卒)
- 馬場 有二** 原子力の仕事から離れ通信会社に勤め15年になります。いま茨城県ひたちなか市に住んでいます。子供(女2人)は独立し、長女は結婚して子供が二人います。孫達は、本当に可愛いです。現在は私の家に同居中です。  
(昭和47年卒)
- 細田 仁** 義父の創業した「中央区民新聞社」を引き継ぎ間もなく丸五年。やっと形になりつつあるところ。前職は鐘紡でデオールやフィラの営業・企画で、全くの畑違いでしたが「つくる」点では同じだと思っています。  
(昭和47年卒)
- 三井 昭一** 昨年11月末、56歳で辞職。妻が一昨年、突然にも逝き、昨年来の不況が背中を押した。ゆったり楽しく活動、それが周囲の憩いとなる事をやりがいとしたい。6月から農林大学の予定ブログ<http://yamazaru01.hamazo.tv/>  
(昭和47年卒)

辯護士

深 澤 隆 之

(昭和41年卒)

深沢綜合法律事務所

事務所 東京都豊島区東池袋3丁目1番1号  
〒170-6022 サンシャイン60 22階12号  
TEL 03(3983)2226(代)  
FAX 03(3983)2359

小野税理士事務所

税理士 小野 浩 道 (昭和39年卒)

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前2丁目33番8-502号  
Tel 03-5772-7661 Fax 03-5772-7510

- 米山 敬文** (昭和 47 年卒) 年齢とともに感動が薄れてきているように感じ、気分転換に乗馬を始めました。色々な性格の馬とのコミュニケーションで、少しは良い刺激になっているようです。5月の連休にも長野まで出かけてきました。
- 渡辺 正文** (昭和 47 年卒) 総合商社に入社して30数年、独身を謳歌し過ぎ(?)42歳で漸く結婚、気が付いたら子供は未だ中2と小5。この調子だと60歳でのハッピーリタイアメントは絶望的、65歳でも無理かも?子育てが終わった同期が羨ましい!
- 青柳 靖元** (昭和 48 年卒) 一高卒業37年、JA(農協)勤務で自称45歳と10歳サバを読んで頑張っています。来年はS48卒が東京同窓会本幹事です。幹事会(月1度)へ是非ご参加下さい。久しく会っていない旧友と会ってみませんか。
- 八田 政仁** (昭和 48 年卒) 来年の幹事に向けて同期生と毎月集まっています。その後の飲み会が楽しみという話もあるのですが…。来年も景気が急に回復するとも思えないので、質素でも楽しい同窓会を目指します。
- 石川 晃一** (昭和 53 年卒) 国立感染症研究所でエイズ研究をしています。  
個人ブログ<http://dream4ever.livedoor.biz/> <http://dream4ever.air-nifty.com/blog/>
- 勝村 良一** (昭和 53 年卒) 首都圏にお住まいの働く女性に、山梨が持つ「美」「健康」「癒し」の魅力を伝えたいという願いを込めた「ビタミンやまなしキャンペーン」のお手伝いをしています。皆様、ご支援よろしくお願い致します。
- 樋口 雄一** (昭和 53 年卒) 私たちS53卒の学年は、第130周年甲府中学・甲府一高同窓会総会・懇親会の当番幹事を務めさせていただきました。皆さまのご協力に本当に感謝申し上げますとともに、東京同窓会のご成功をご祈念申し上げます。
- 望月 正紀** (昭和 54 年卒) 2011年5月14日(土)甲府富士屋ホテルで開催予定の第131周年甲府中学・甲府一高同窓会総会に向けて、興石修実行委員長を中心に準備を進めております。皆様の御支援・御協力をお願いいたします。
- 有友 明子** (昭和 56 年卒) 旧姓、山形明子です。東野醒子という芸名で東京で演劇活動をしています。我が劇団「激弾BKYU」は今年で創立25周年を迎えました。これからも質実剛健を胸に、演劇を通して人の道を究めていきたいと思っています。
- 楠井 一広** (昭和 56 年卒) 在学中は卓球部に所属、学校行事の10kmマラソンでは2年と3年時に1位と体力には自信があったのですが…。今はゴルフの月例競技会に参加することで体力作り中です。現在、西新宿のロッテに勤務しています。
- 渡辺 郁美** (平成 14 年卒) 一高を卒業してから、早9年。京都の大学を卒業した後、京都で一度就職し、転職を経て、現在は山梨で一般企業に勤めています。一高の吹奏楽部で過ごした日々がとても懐かしいです。
- 渡辺 拓** (平成 17 年卒) 甲府一高をH18年の春に卒業して、大学も今年の3月に卒業して、新社会人として山梨県内の市役所で働いています。社会人になって忙しい毎日ですが、みなさんと会える機会があればいいなと思っています。

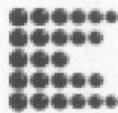


さらしな  
耳鼻咽喉科クリニック

医学博士 更級 則夫

〒273-0122 千葉県鎌ヶ谷市東初富 6-7-16  
TEL&FAX.047-443-3346

優れたソフトウェアを開発する「e職人」のプロ集団です



株式会社  
コスモエナジー

代表取締役 軽石 泰孝 (昭和50年卒)

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-1 南池袋光ビル4F

TEL:03-3986-0048 FAX:03-3986-5794

<http://www.cosmoenergy.co.jp/>